

第42回評価委員会
村田町竹の内地区産業廃棄物最終処分場
生活環境影響調査報告書

概 要 版

(案)

表 1-2 モニタリング計画

調査目的	調査名	調査項目		調査地点数	調査箇所	調査頻度等	
処分場による生活環境保全上の支障の有無の把握	大気環境調査	大気環境基準項目 指針値設定項目	塩化ビニルモノマー、1,3-ブタジエン、ジクロロメタン、アクリロニトリル、クロホルム、1,2-ジクロロエタン、ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、水銀及びその化合物	2 地点	処分場内 村田町役場	年 1 回	
		その他項目	硫化水素、メタン、アンモニア				
	硫化水素連続調査	硫化水素、風向、風速		2 地点	処分場内敷地境界 村田第二中学校	通年 (30 秒毎に 24 時間連続測定)	
	放流水水質調査	排水基準項目	1,4-ジチオキサン、水素イオン濃度 (pH)	1 地点	放流水採取地点	年 4 回	
			鉛及びその化合物、砒素及びその化合物、ほう素及びその化合物、ふっ素及びその化合物、アンモニア等(アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物)、生物化学的酸素要求量 (BOD)、浮遊物質量 (SS)、ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量)、ノルマルヘキサン抽出物質含有量(動植物油脂類含有量)、フェノール含有量、亜鉛含有量、溶解性鉄含有量、溶解性マンガ含有量、大腸菌群数、ダクタリシソ類				
	その他項目	溶存酸素量 (DO)、塩化物イオン、硫酸イオン、水温、透視度、流量、電気伝導率				年 4 回	
	河川水水質調査	環境基準健康項目	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、1,4-ジチオキサン	2 地点	荒川上流側 荒川下流側	年 4 回	
鉛、砒素、ふっ素、ほう素							
環境基準生活環境項目		pH、生物化学的酸素要求量 (BOD)、浮遊物質量 (SS)、溶存酸素量 (DO)			年 1 回		
		大腸菌数			年 4 回		
その他項目	アンモニア(アンモニア、アンモニウム化合物)、塩化物イオン、硫酸イオン、水温、透視度、流量、電気伝導率				年 4 回		
バイオモニタリング	AOD 試験 ^{*1} による半数致死濃度 (*1:水族環境診断法: Aquatic Organisms environment Diagnostics)		2 地点	荒川上流側 荒川下流側	年 1 回		
処分場内廃棄物により汚染された浸透水等の地下水の拡散又はそのおそれの把握	浸透水及び地下水水質調査	地下水等検査項目	鉛、砒素、1,4-ジチオキサン	21 地点	浸透水 11 地点 No.3b、No.5b、H16-3、H16-5、H16-6、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15、H26-3a、H26-3b	年 4 回	
			総水銀、六価クロム、1,2-ジクロロエタン、ベンゼン、塩化ビニルモノマー、アルキル水銀、カドミウム、全シアン、ホリ塩化ビニル、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロパン、チオラム、シマジン、チオベンカルブ、セレン				
	その他項目	BOD、pH、SS、ほう素、ふっ素、アンモニア(アンモニア、アンモニウム化合物)、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、塩化物イオン、硫酸イオン、水温、電気伝導率、酸化還元電位		地下水 10 地点 Loc.1、Loc.1a、Loc.1b、Loc.3、H16-1b、H16-15、H17-19、H26-1a、H26-1b、H26-2 ※ 平成 28 年 2 月より調査箇所を、No.3 及び No.5 を No.3b 及び No.5b へ変更	年 1 回 (浸透水のみ)		
		ダクタリシソ類 (H16-1b を除く)			年 4 回		
重炭酸イオン、硫化物イオン		年 2 回					
		年 1 回					
処分場の状況の把握	発生ガス調査	発生ガス	発生ガス量、メタン、二酸化炭素、硫化水素、酸素、孔内温度 (管頭下 1 m)、気象 (気温、気圧)	17 地点	No.3、No.3a、No.3b、No.5、No.5a、No.5b、H16-3、H16-5、H16-6、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15、H26-3a、H26-3b、7-2、7-4	月 1 回	
	地中温度調査	鉛直方向 1 m 毎の温度、帯水域の温度		10 地点	廃棄物埋立区域内 9 地点 No.3、No.5、H16-3、H16-5、H16-6、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15 廃棄物埋立区域外 1 地点 Loc.1a	年 2 回	
	地下水位調査	地下水位、降雨量		21 地点	廃棄物埋立区域内 11 地点 No.3、No.5、H16-3、H16-5、H16-6、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15、H26-3a、H26-3b 廃棄物埋立区域外 10 地点 Loc.1、Loc.1a、Loc.1b、Loc.3、Loc.4、H16-15、H17-19、H26-1a、H26-1b、H26-2	通年 (1 時間毎に 24 時間連続測定)	
	多機能性覆土状況調査	硫化水素	多機能性覆土施工箇所 13 地点 A-1、A-2、A-3、A-4、A-5、A-6、B-1、B-2、B-3、B-4、B-5、B-6、B-7		26 地点	多機能性覆土隣接地等 13 地点 平成 22 年度表層ガス調査において、比較的高いガス濃度の硫化水素が検出された地点の周辺	年 1 回
	地表ガス調査				5 地点		

2 環境モニタリングの結果

2.1 生活環境保全上の支障の有無の把握に関する環境モニタリング

2.1.1 大気環境調査

大気環境調査については、年1回実施することとしており、令和7年度は1月に実施予定である。

2.1.2 硫化水素連続調査

硫化水素による生活環境保全上の支障の有無を把握するため、処分場の敷地境界1地点と村田第二中学校1地点の合計2地点において、調査期間中30秒毎に24時間連続で硫化水素を測定することとしている。

調査結果については、村田町竹の内地区は、悪臭防止法に基づく規制は適用されないが、この法令を準用し、硫化水素の規制基準として示される濃度範囲（臭気強度2.5（0.02ppm）～3.5（0.2ppm））のうち最も低い（厳しい）濃度である0.02ppmを管理目標基準濃度として処分場等の濃度と比較した。

- 両地点の全ての観測において、硫化水素の値は定量下限値※（0.005ppm）を下回った。
- 平成20年12月以降から現在までの全ての観測で、基準濃度とした0.02ppmを超えるような濃度は測定されておらず、目標値を満たす状況が継続している。

※ 高感度毒性ガスモニターによる測定（検知原理：検知テープ光電光度法）における定量下限値



図 2-14 硫化水素連続調査地点図

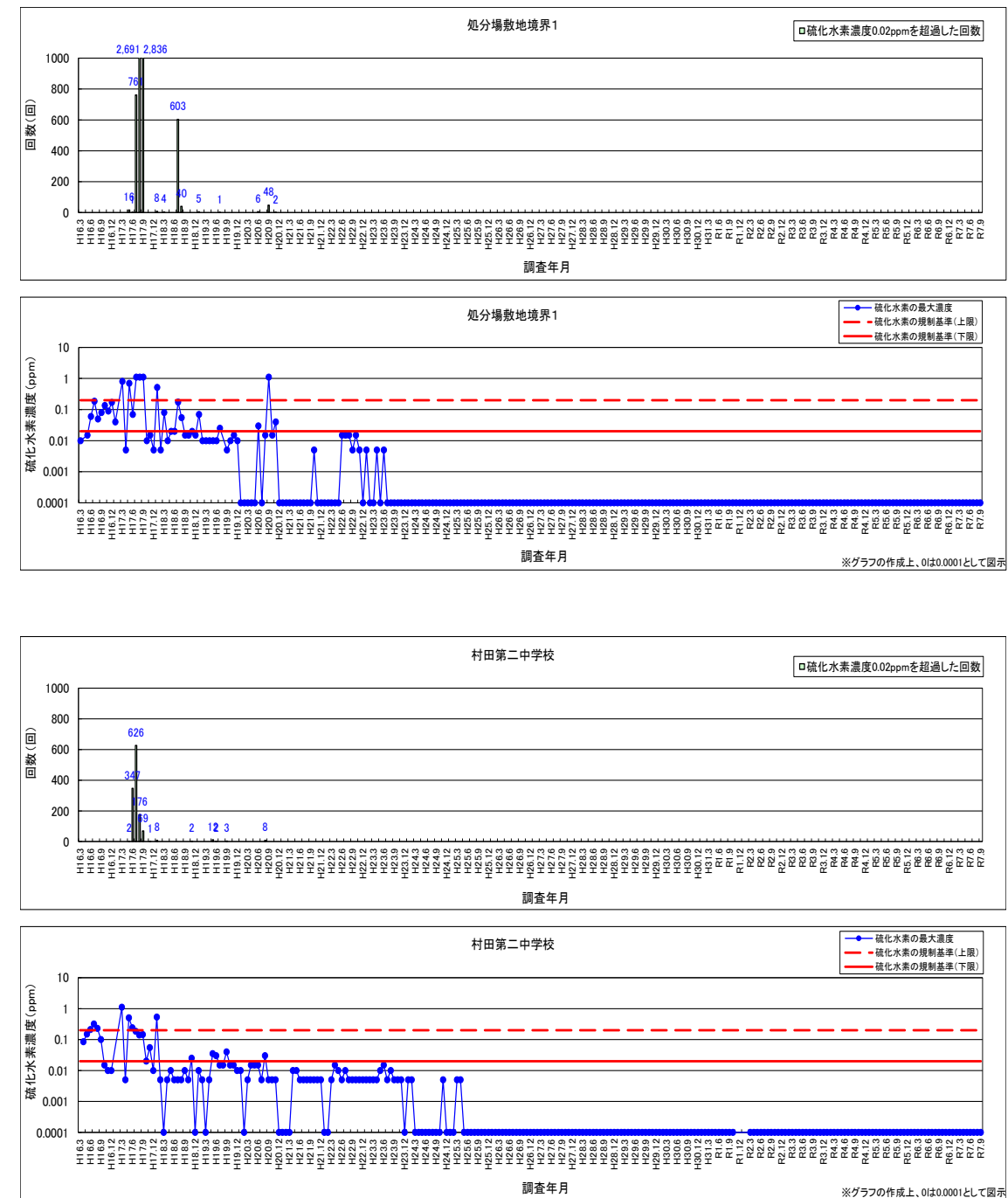


図 2-15 硫化水素連続調査結果図

2.1.3 放流水及び河川水水質調査

処分場からの放流水による生活環境保全上の支障の有無を把握するため、放流水1地点と河川水2地点（放流水と河川水が合流する地点よりも上流側及び下流側）で令和7年6月、令和7年9月の2回、水質調査を実施した。結果は次のとおりであった。なお、ダイオキシン類については放流水1地点で7月に、測定回数を年1回とした放流水の15項目及び河川水の5項目については9月に実施した。

(1) 放流水

- 処分場からの放流水の水質は、準用する管理型最終処分場の放流水基準に適合していた。
- 浸透水の一部観測井戸で地下水等検査項目基準を超過した砒素及びBODは放流水でも検出されたが、放流水基準には適合していた。
- 過去に放流水基準を超過したことがある大腸菌群数については、9月に23（個/cm³）と、放流水基準3000（個/cm³）を下回っていた。

(2) 河川水

- 河川水の水質は、放流水の合流地点より上流側と下流側で同程度の値を示し、放流水が荒川の水質に及ぼす影響は概ねないものと考えられる。
- 浸透水の一部観測井戸で地下水等検査項目基準を超過した砒素及びBODについて、河川水では定量下限値を超えて検出されたものの、上流側と下流側で同程度の値を示した。

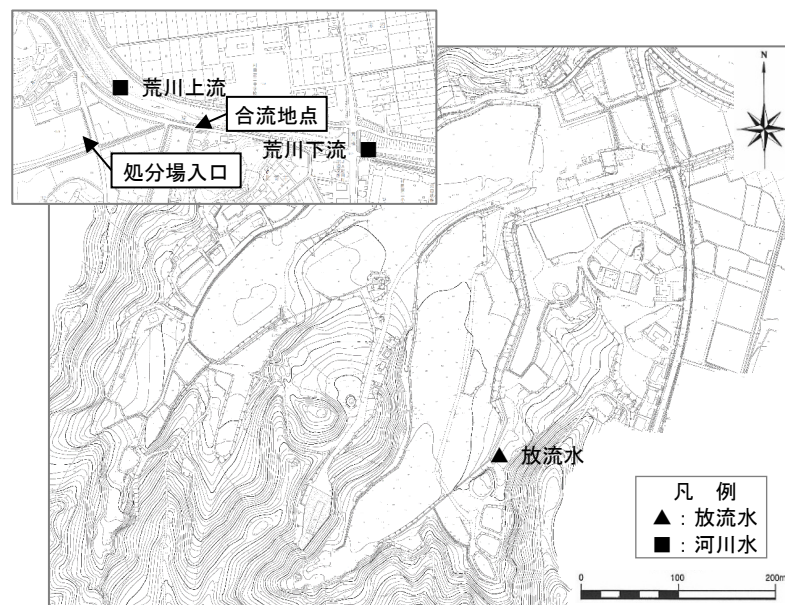


図 2-16 放流水及び河川水の水質調査地点図

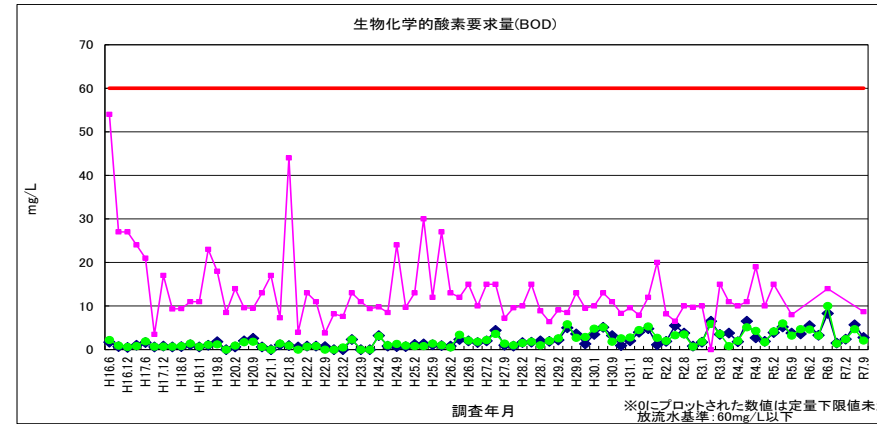


図 2-17 生物学的酸素要求量 (BOD) (放流水・河川水)

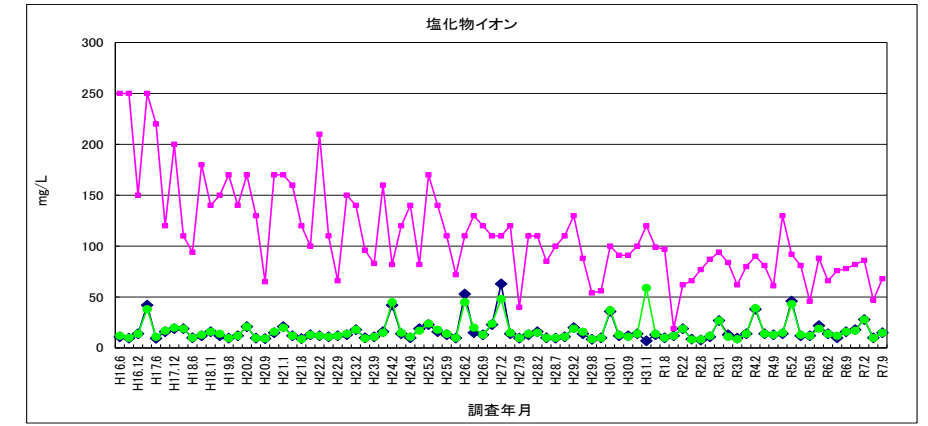


図 2-18 塩化物イオン (放流水・河川水)

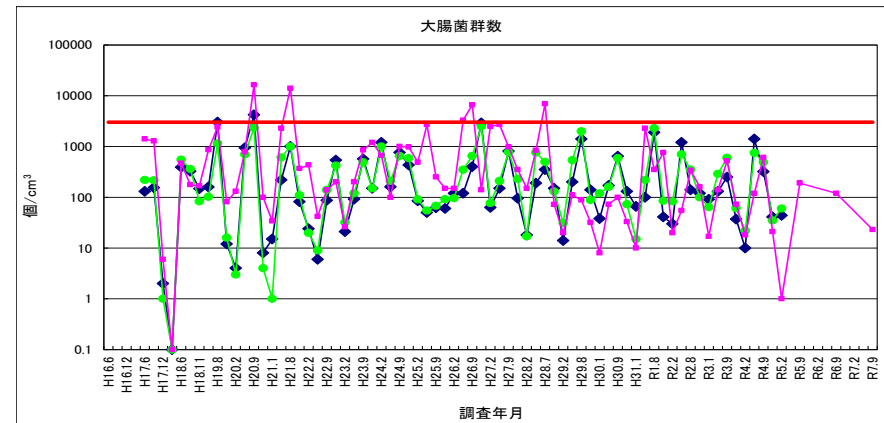


図 2-19 大腸菌群数 (放流水)

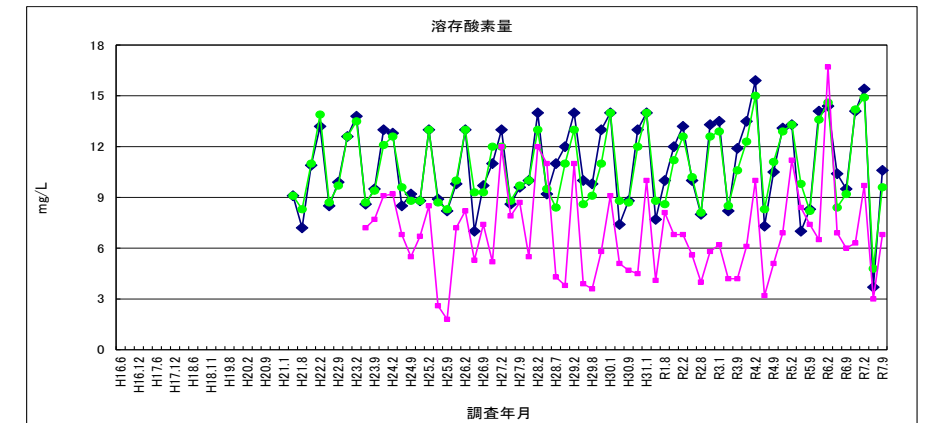


図 2-20 溶存酸素量 (放流水・河川水)

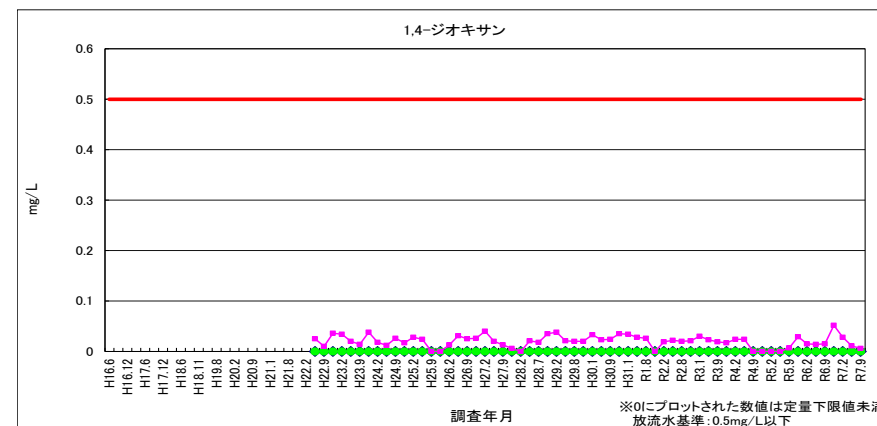


図 2-21 1,4-ジオキサン (放流水・河川水)

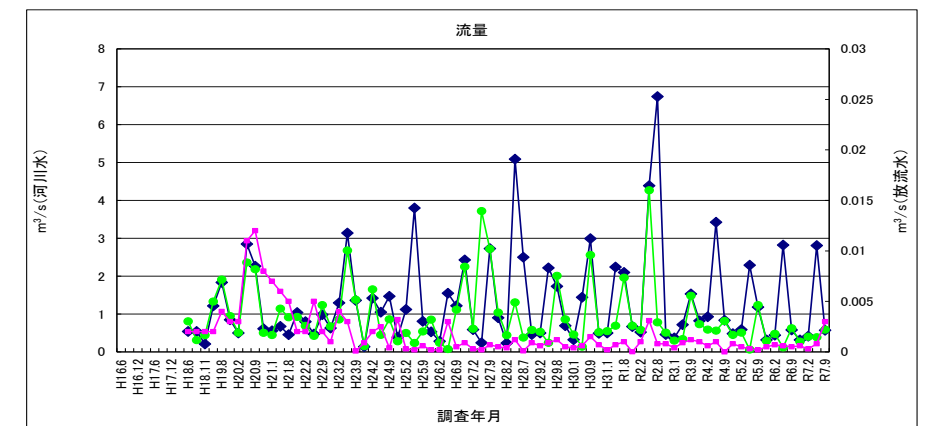
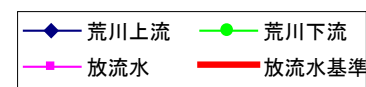


図 2-22 流量 (放流水・河川水)



2.1.4 バイオモニタリング

バイオモニタリングについては、年1回実施することとしており、令和7年度は12月に実施予定である。

2.2 処分場内廃棄物により汚染された浸透水の地下水への拡散又はそのおそれの把握に関する環境モニタリング

2.2.1 浸透水及び地下水水質調査

処分場内の廃棄物により汚染された浸透水の地下水への拡散又はそのおそれを把握するため、11地点（No.3b、No.5b、H16-3、H16-5、H16-6、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15、H26-3a、H26-3b）及び処分場周辺の地下水観測井戸10地点（Loc.1、Loc.1a、Loc.1b、Loc.3、H16-1b、H16-15、H17-19、H26-1a、H26-1b、H26-2）合計21地点で、令和7年6月、令和7年9月に水質調査を実施した。ダイオキシン類については6～7月に実施した。なお、測定回数を年1回とした24項目のうち22項目については、6月に浸透水11地点で、他2項目については浸透水及び地下水の21地点で実施した。調査の結果は、次のとおりであった。

なお、地下水等検査項目基準とは、廃棄物処理法に定める地下水等検査項目基準をいう。

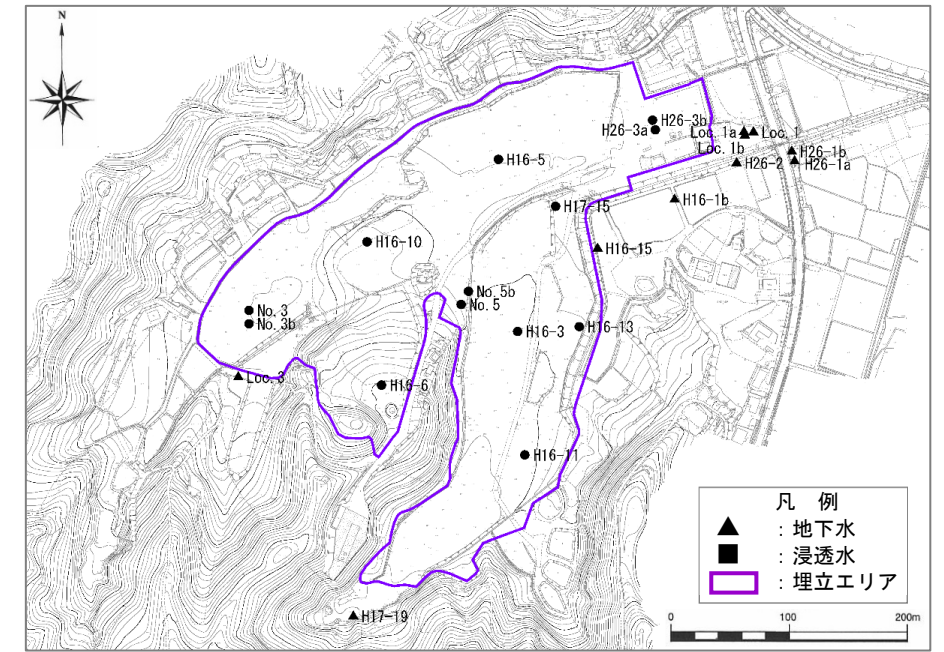
(1) 処分場内の浸透水

- 浸透水は、一部の観測井戸で砒素及びBODが地下水等検査項目基準を、ほう素及びふっ素が地下水環境基準を超過したが、それ以外の項目は基準に適合していた。
- 砒素については、H16-6で地下水等検査項目基準に適合しなかった。経年変化をみると、変動の大きい年もあるが、概ね横ばい傾向であった。
- BODについては、5地点（No.3b、H16-3、H16-6、H16-10、H17-15）で地下水等検査項目基準に適合しなかった。経年変化をみると、No.3b、H16-3、H16-10、H17-15は緩やかな増加傾向を示していたが、直近3年間程度は横ばい傾向である。H16-6については概ね横ばい傾向であった。
- ほう素については、5地点（No.3b、H16-6、H16-10、H16-13、H17-15）で地下水環境基準に適合しなかった。経年変化を見ると、横ばいもしくは緩やかな低下傾向であった。
- ふっ素については、7地点（No.3b、No.5b、H16-3、H16-6、H16-10、H16-11、H17-15）で地下水環境基準に適合しなかった。経年変化を見ると、横ばいもしくは緩やかな低下傾向であった。

- ダイオキシン類については、全ての地点で検出されているものの、0.03～0.81 pg-TEQ/Lと環境基準に適合していた。

(2) 処分場周辺の地下水

- 周辺地下水は、H17-19で令和7年6月及び9月に砒素が地下水等検査項目基準を超過したが、それ以外の項目は基準に適合していた。
- 処分場内の浸透水で地下水等検査項目基準を超過していたBOD及び地下水環境基準を超過していたほう素とふっ素については、周辺地下水ではいずれも基準に適合していた。
- ダイオキシン類について、すべての地点で検出されており、1地点（H17-19）で環境基準に適合しなかった。この地点の発生源について同族体組成から推定すると、農薬由来の混合物と考えられる。経年変化を見ると、横ばい傾向であった。



※ 平成28年2月より調査箇所を、No.3及びNo.5をNo.3b及びNo.5bへ変更

図 2-24 浸透水及び地下水水質調査地点図

表 2-1 浸透水の濃度範囲（令和 7 年度上半期）

分析項目	適応基準	単位	基準値	浸 透 水 (令和 7 年度上半期)																									
				9 工区		8 工区				ビートストックエリア						6 工区		4 工区		2 工区		1 工区							
				H16-11		H16-3		H16-13		No. 5		No. 5b		H16-6		No. 3		No. 3b		H16-10		H16-5		H17-15		H26-3a		H26-3b	
				R7.6	R7.9	R7.6	R7.9	R7.6	R7.9	R7.6	R7.9	R7.6	R7.9	R7.6	R7.9	R7.6	R7.9	R7.6	R7.9	R7.6	R7.9	R7.6	R7.9	R7.6	R7.9	R7.6	R7.9	R7.6	R7.9
アルキル水銀		mg/L	検出されないこと	不検出	-	不検出	-	不検出	-	不検出	-	不検出	-	不検出	-	不検出	-	不検出	-	不検出	-	不検出	-	不検出	-	不検出	-		
総水銀		mg/L	0.0005以下	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-		
カドミウム		mg/L	0.003以下	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-		
鉛		mg/L	0.01以下	0.004	0.004	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-	-	<0.002	<0.002	<0.002	0.008	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		
六価クロム		mg/L	0.05以下	0.01	-	<0.01	-	<0.01	-	-	-	<0.01	<0.01	<0.01	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-		
砒素		mg/L	0.01以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.003	-	-	<0.001	<0.001	0.003	0.015	-	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002		
全シアン		mg/L	検出されないこと	不検出	-	不検出	-	不検出	-	-	-	不検出	-	不検出	-	不検出	-	不検出	-	不検出	-	不検出	-	不検出	-	不検出	-		
ポリ塩化ビフェニル (PCB)		mg/L	検出されないこと	不検出	-	不検出	-	不検出	-	-	-	不検出	-	不検出	-	不検出	-	不検出	-	不検出	-	不検出	-	不検出	-	不検出	-		
トリクロロエチレン		mg/L	0.01以下	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	-	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-		
テトラクロロエチレン		mg/L	0.01以下	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	-	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-		
ジクロロメタン		mg/L	0.02以下	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	-	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-		
四塩化炭素		mg/L	0.002以下	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	-	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-		
1,2-ジクロロエタン		mg/L	0.004以下	<0.0004	-	<0.0004	-	<0.0004	-	-	-	<0.0004	-	<0.0004	-	<0.0004	-	<0.0004	-	<0.0004	-	<0.0004	-	<0.0004	-	<0.0004	-		
1,1-ジクロロエチレン		mg/L	0.1以下	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	-	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-		
1,2-ジクロロエチレン (シス体・トランス体の和)		mg/L	0.04以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
1,1,1-トリクロロエタン		mg/L	1以下	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	-	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-		
1,1,2-トリクロロエタン		mg/L	0.006以下	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	-	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-		
1,3-ジクロロプロペン		mg/L	0.002以下	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	-	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-		
チウラム		mg/L	0.006以下	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	-	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-		
シマジン		mg/L	0.003以下	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	-	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-		
チオベンカルブ		mg/L	0.02以下	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	-	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-		
ベンゼン		mg/L	0.01以下	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	-	-	<0.001	-	0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-		
セレン及びその化合物		mg/L	0.01以下	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	-	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-		
1,4-ジオキサン		mg/L	0.05以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.018	0.023	-	-	<0.005	<0.005	<0.005	0.006	-	0.013	<0.005	0.026	0.032	<0.005	<0.005	0.016	0.012	<0.005	<0.005	0.028		
クロロエチレン (塩化ビニルモノマー)		mg/L	0.002以下	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	-	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-		
生物化学的酸素要求量 (BOD)		mg/L	20以下	6.5	4.6	23	20	20	16	-	-	10	6	10	23	-	26	17	23	33	5.9	4.4	24	24	9.1	7.9	11		
ほう素		mg/L	1 ^{※2}	0.24	0.06	0.93	0.23	2	1.6	-	-	0.73	0.39	1.1	1.0	-	1.9	0.33	2.6	2.5	0.09	0.05	1.3	1.2	0.06	0.06	0.41		
ふっ素		mg/L	0.8 ^{※2}	2	1.9	0.89	0.61	0.52	0.51	-	-	0.92	0.73	0.7	0.88	-	0.86	0.34	1.4	1.3	0.08	0.10	0.88	0.86	0.09	0.16	0.15		
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素		mg/L	10 ^{※2}	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	-	-	<0.2	<0.2	<0.2	1.4	-	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2		
ダイオキシン (Total TEQ)		ng-TEQ/L	1 ^{※3}	0.058	0.041	1.4	0.12	3.8	1.8	0.070	2.5	0.033	0.16	0.14	0.078	1.3	0.064	0.44	0.161	0.032	0.19	0.041	0.33	0.29	0.360	110	0.048		

*1 地下水等検査項目基準：一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令（昭和52年3月14日総理府・厚生省第1号）別表第二等
 *2 地下水環境基準：地下水の水質汚濁に係る環境基準について（平成9年3月13日環境庁告示第10号）別表
 *3 ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁（水底汚染を含む。）及び土壌汚染に係る環境基準（平成11年12月27日環境庁告示第68号）別表を準用。
 *4 数値0は定量下限値以下を示す。

標準超過値

表 2-2 令和 6 年度までの浸透水の基準超過回数と濃度範囲

分析項目	適応基準	単位	基準値	浸 透 水 (令和 6 年度までの全ての観測値)																															
				9 工区				8 工区				ビートストックエリア								6 工区				4 工区				2 工区				1 工区			
				H16-11		H16-3		H16-13		No. 5		No. 5b		H16-6		No. 3		No. 3b		H16-10		H16-5		H17-15		H26-3a		H26-3b							
				最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数					
アルキル水銀		mg/L	検出されないこと	0	0	0/25	0	0	0/25	0	0	0/25	0	0	0/16	0	0	0/10	0	0	0/25	0	0	0/10	0	0	0/23	0	0	0/10	0	0	0/35		
総水銀		mg/L	0.0005以下	0	0	0/61	0	0	0/61	0	0	0/30	0	0	0/36	0	0	0/30	0	0	0/61	0	0	0/59	0	0	0/35	0	0	0/35	0	0	0/35		
カドミウム		mg/L	0.003以下	0	0	0/25	0	0	0/24	0	0	0/25	0	0	0/16	0	0	0/10	0	0	0/25	0	0	0/23	0	0	0/10	0	0	0/10	0	0	0/10		
鉛		mg/L	0.01以下	0	0	0.032	3	67	0	0	0.035	4	67	0	0	0.027	2	30	0	0	0.060	3	67	0	0	0.039	1	30	0	0	0.002	0	0	0.006	
六価クロム		mg/L	0.05以下	0	0	0.012	0	61	0	0	0.015	0	61	0	0	0.015	0	30	0	0	0.036	0	61	0	0	0.036	0	61	0	0	0.006	0	0	0.006	
砒素		mg/L	0.01以下	0	0	0.005	0	67	0	0	0.003	0	67	0	0	0.001	0	43	0	0	0.013	1	67	0	0	0.006	0	30	0	0	0.002	0	0	0.002	
全シアン		mg/L	検出されないこと	0	0	0/25	0	0	0/25	0	0	0/16	0	0	0/10	0	0	0/10	0	0	0/25	0	0	0/10	0	0	0/25	0	0	0/25	0	0	0/23		
ポリ塩化ビフェニル (PCB)		mg/L	検出されないこと	0	0	0/24	0	0	0/25	0	0	0/16	0	0	0/10	0	0	0/10	0	0	0/25	0	0	0/23	0	0	0/10	0	0	0/10	0	0	0/10		
トリクロロエチレン		mg/L	0.01以下	0	0	0/25	0	0	0/25	0	0	0/16	0	0	0/10	0	0	0/10	0	0	0/25	0	0	0/23	0	0	0/10	0	0	0/10	0	0	0/10		
テトラクロロエチレン		mg/L	0.01以下	0	0	0/25	0																												

表 2-3 地下水の濃度範囲（令和7年度上半期）

分析項目	適応基準	単位	基準値	地下水(令和7年度上半期)																	
				上流側				下流側(南側)				下流側									
				H17-19		Loc. 3		H16-15		H16-1b		Loc. 1		Loc. 1a		Loc. 1b		H26-2		H26-1a	
R7.6	R7.9	R7.6	R7.9	R7.6	R7.9	R7.6	R7.9	R7.6	R7.9	R7.6	R7.9	R7.6	R7.9	R7.6	R7.9	R7.6	R7.9	R7.6	R7.9		
アルキル水銀	廃棄物処理法 地下水等検査 項目基準*1	mg/L	検出されないこと	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総水銀		mg/L	0.0005以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カドミウム		mg/L	0.003以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鉛		mg/L	0.01以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	0.005	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002
六価クロム		mg/L	0.05以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
砒素		mg/L	0.01以下	0.013	0.013	<0.001	<0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.003	<0.001	<0.001	0.009	0.009	<0.001	<0.001
全シアン		mg/L	検出されないこと	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ポリ塩化ビフェニル (PCB)		mg/L	検出されないこと	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
トリクロロエチレン		mg/L	0.01以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
テトラクロロエチレン		mg/L	0.01以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ジクロロメタン		mg/L	0.02以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
四塩化炭素		mg/L	0.002以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1,2-ジクロロエタン		mg/L	0.004以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1,1-ジクロロエチレン		mg/L	0.1以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1,2-ジクロロエチレン(シス体・トランス体の和)		mg/L	0.04以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1,1,1-トリクロロエタン		mg/L	1以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1,1,2-トリクロロエタン		mg/L	0.006以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1,3-ジクロロプロパン		mg/L	0.002以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
チウラム		mg/L	0.006以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
シマジン		mg/L	0.003以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
チオベンカルブ		mg/L	0.02以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ベンゼン		mg/L	0.01以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
セレン及びその化合物		mg/L	0.01以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1,4-ジオキサン		mg/L	0.05以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.012	0.006	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
クロロエチレン(塩化ビニルモノマー)		mg/L	0.02以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生物学的酸素要求量 (BOD)		mg/L	20以下	2.1	5	4.6	4.2	6.3	7.5	13	4.1	<0.5	<0.5	0.5	0.5	10	8.9	10	12	0.6	3
ほう素		mg/L	1 ^{#2}	0.03	0.02	0.04	0.03	0.47	0.48	0.04	0.03	0.18	0.15	0.14	0.12	0.11	0.1	0.07	0.05	0.04	0.04
ふっ素	mg/L	0.8 ^{#2}	<0.08	<0.08	0.08	0.1	<0.08	0.08	0.14	0.16	0.1	<0.08	0.10	0.09	<0.08	0.09	0.11	0.11	0.1	0.12	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	10 ^{#2}	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	0.2	<0.2	<0.2	<0.2	0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	
ダイオキシン(Total TEQ)	環境基準*3	DG-TEQ/L	1 ^{#3}	1.3	0.23	0.17	-	-	-	0.026	0.041	0.048	0.27	0.45	0.027	-	-	-	-	-	

*1 地下水等検査項目基準：一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令（昭和52年3月14日総理府・厚生省第1号）別表第二等
 *2 地下水環境基準：地下水の水質汚濁に係る環境基準について（平成9年3月13日環境庁告示第10号）別表
 *3 ダイオキシン類による大気の大気汚染、水質の汚濁（水底の汚染を含む。）及び土壌汚染に係る環境基準（平成11年12月27日環境庁告示第68号）別表を準用。
 *4 数値0は定量下限値以下を示す。

■ 基準超過値

表 2-4 令和5年度までの地下水の基準超過回数と濃度範囲

分析項目	適応基準	単位	基準値	地下水(令和6年度までの全ての観測値)																							
				上流側						下流側(南側)						下流側											
				H17-19		Loc. 3		H16-15		H16-1b		Loc. 1		Loc. 1a		Loc. 1b		H26-2		H26-1a		H26-1b					
最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数	最小値	最大値	超過回数				
アルキル水銀	廃棄物処理法 地下水等検査 項目基準*1	mg/L	検出されないこと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
総水銀		mg/L	0.0005以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
カドミウム		mg/L	0.003以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
鉛		mg/L	0.01以下	0	0.014	2	0	0.083	10	0	0	0	0	0	0.003	0	0	0.059	1	0	0.031	5	0	0.015	1		
六価クロム		mg/L	0.05以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
砒素		mg/L	0.01以下	0.001	0.068	17	0	0.007	0	0	0.001	0	0.003	0	0.005	0	0.009	0	0.001	0.009	0	0.007	0	0.001	0		
全シアン		mg/L	検出されないこと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
ポリ塩化ビフェニル (PCB)		mg/L	検出されないこと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
トリクロロエチレン		mg/L	0.01以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
テトラクロロエチレン		mg/L	0.01以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
ジクロロメタン		mg/L	0.02以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
四塩化炭素		mg/L	0.002以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
1,2-ジクロロエタン		mg/L	0.004以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
1,1-ジクロロエチレン		mg/L	0.1以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
1,2-ジクロロエチレン(シス体・トランス体の和)		mg/L	0.04以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
1,1,1-トリクロロエタン		mg/L	1以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
1,1,2-トリクロロエタン		mg/L	0.006以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
1,3-ジクロロプロパン		mg/L	0.002以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
チウラム		mg/L	0.006以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
シマジン		mg/L	0.003以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
チオベンカルブ		mg/L	0.02以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
ベンゼン		mg/L	0.01以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
セレン及びその化合物		mg/L	0.01以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
1,4-ジオキサン		mg/L	0.05以下	0	0	0	0	0	0.012	0	0	0.044	0	0	0.044	0	0	0.060	0	0.006	0	0.041	0	0.041			
クロロエチレン(塩化ビニルモノマー)		mg/L	0.02以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
生物学的酸素要求量 (BOD)		mg/L	20以下	0	6.1	0	64	0	5	0	83	1.5	27	2	44	1.3	24	1	44	0	3.8	0	44	0			
ほう素		mg/L	1 ^{#2}	0	0.12	0	64	0	0.16	0	76	0	0.45	0	44	0	0.06	0	44	0.03	0.16	0	44	0			
ふっ素	mg/L	0.8 ^{#2}	0	0.14	0	64	0	0.50	0	76	0	0.16	0	44	0	0.5	0	44	0	0.10	0	44	0				
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	10 ^{#2}	0	0.02	0	64	0	0.2	0	65	0	0.3	0	44	0	1.2	0	44	0	2.7	0	44	0				
ダイオキシン(Total TEQ)	環境基準*3	DG-TEQ/L	1 ^{#3}	0.063	0.85	0	28	0.034	0.23	0	30	0.087	0.62	0	18	1.3	1	1	0.030	0.17	0	18	0.035				

*1 地下水等検査項目基準：一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令（昭和52年3月14日総理府・厚生省第1号）別表第二等
 *2 地下水環境基準：地下水の水質汚濁に係る環境基準について（平成9年3月13日環境庁告示第10号）別表
 *3 ダイオキシン類による大気の大気汚染、水質の汚濁（水底の汚染を含む。）及び土壌汚染に係る環境基準（平成11年12月27日環境庁告示第68号）別表を準用。
 *4 数値0は定量下限値未満を示す。

※基準値超過回数/測定実施回数
 ■ 基準超過1~9回
 ■ 基準超過10~19回
 ■ 基準超過20以上
 ■ 基準超過値

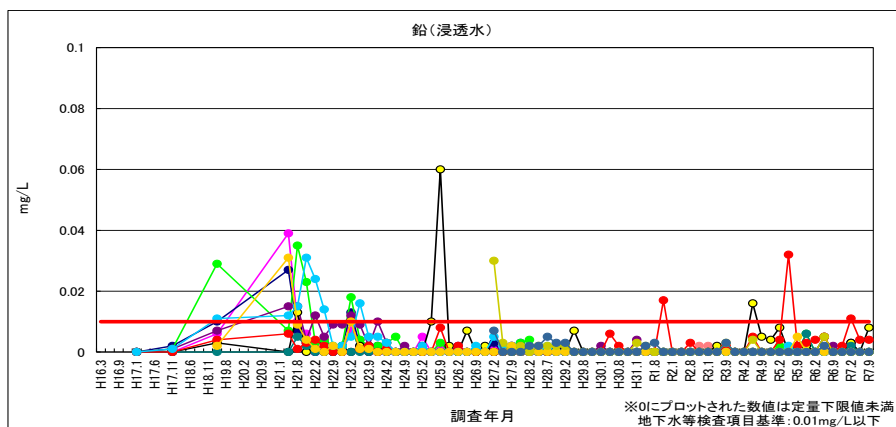
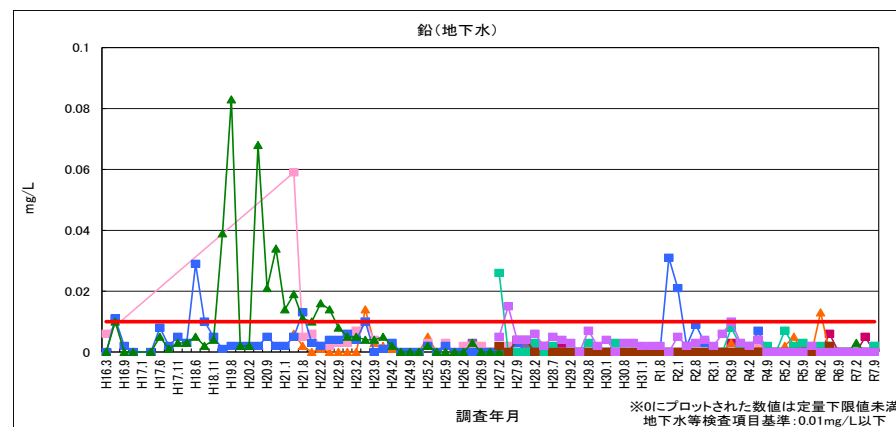


図 2-25 鉛 (浸透水)



※Loc.1bの平成18年8月以前と、Loc.3の平成19年8月以前は事業者設置井戸によるもの

図 2-26 鉛 (地下水)

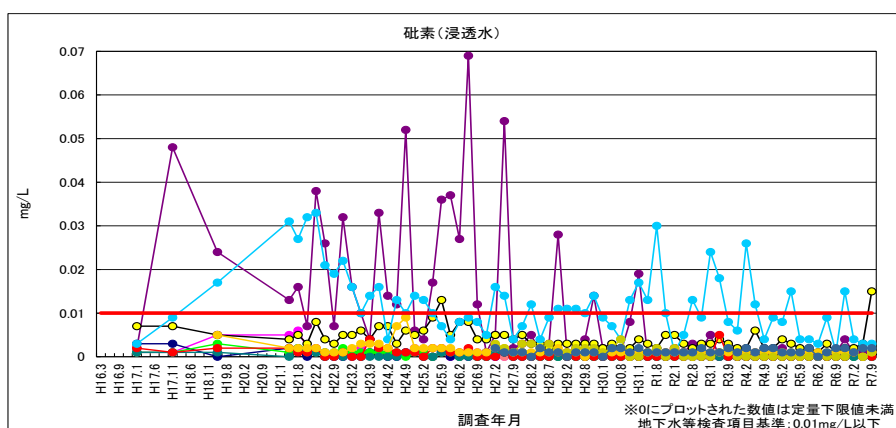
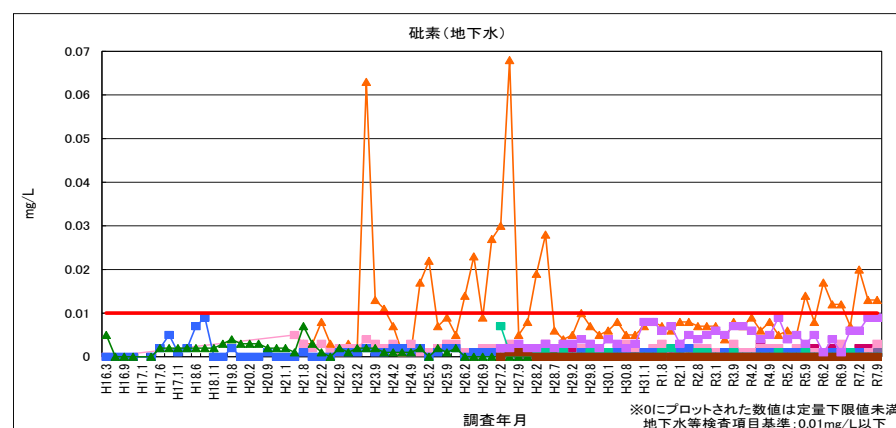


図 2-27 珪素 (浸透水)



※Loc.1bの平成18年8月以前と、Loc.3の平成19年8月以前は事業者設置井戸によるもの

図 2-28 珪素 (地下水)

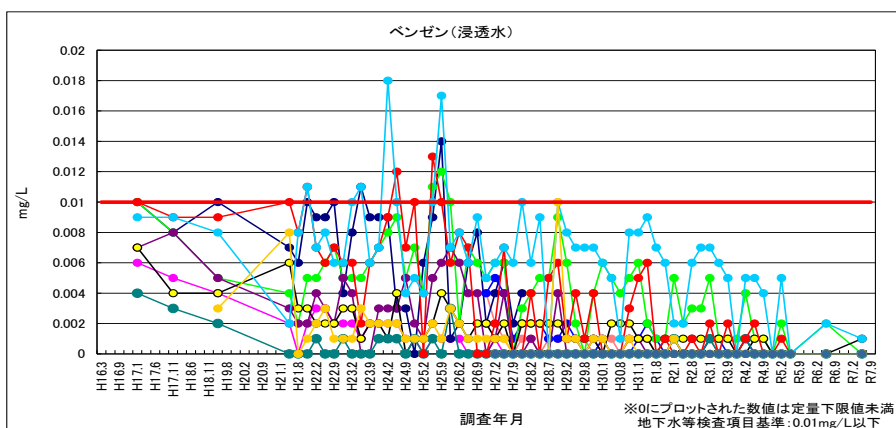
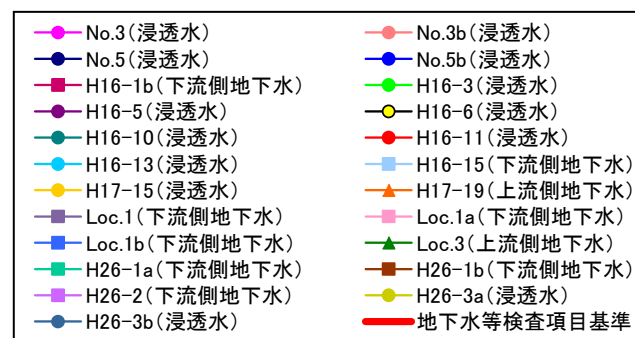


図 2-29 ベンゼン (浸透水)



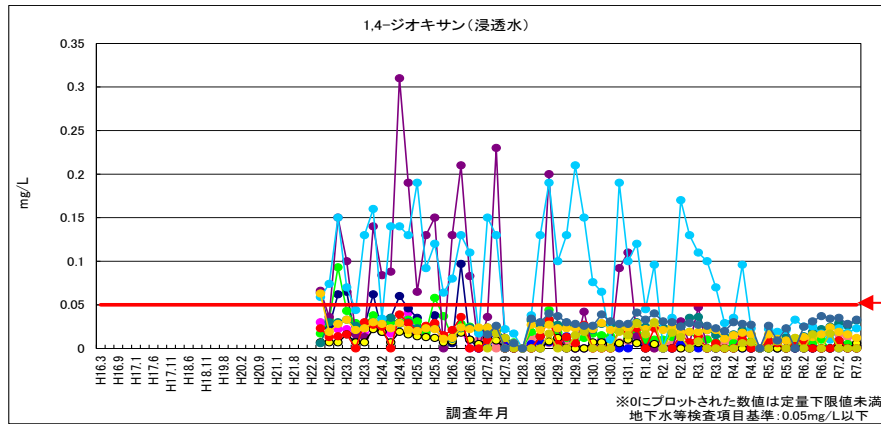


図 2-30 1,4-ジオキサン（浸透水）

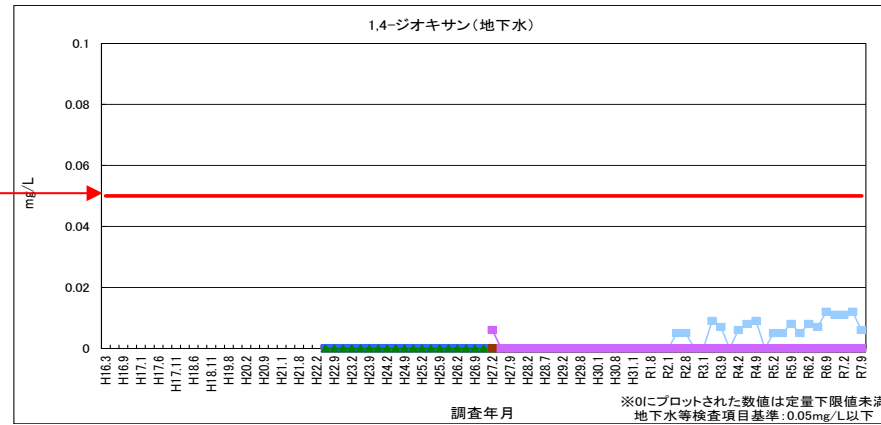


図 2-31 1,4-ジオキサン（地下水）

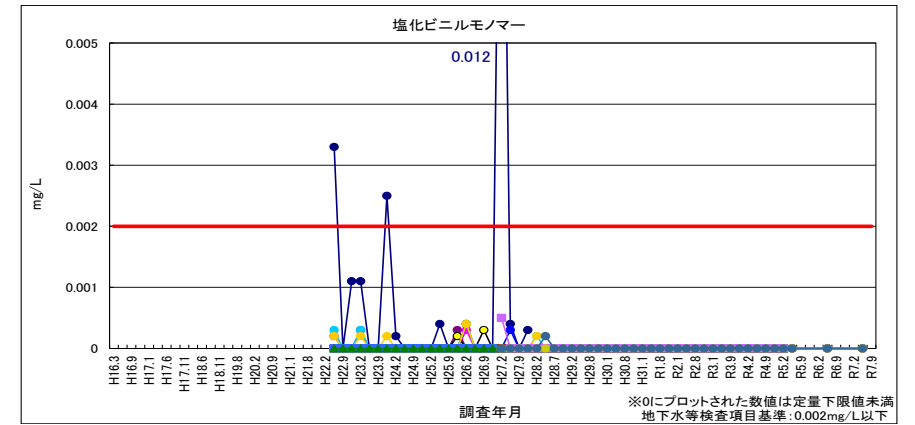


図 2-32 塩化ビニルモノマー（浸透水・地下水）

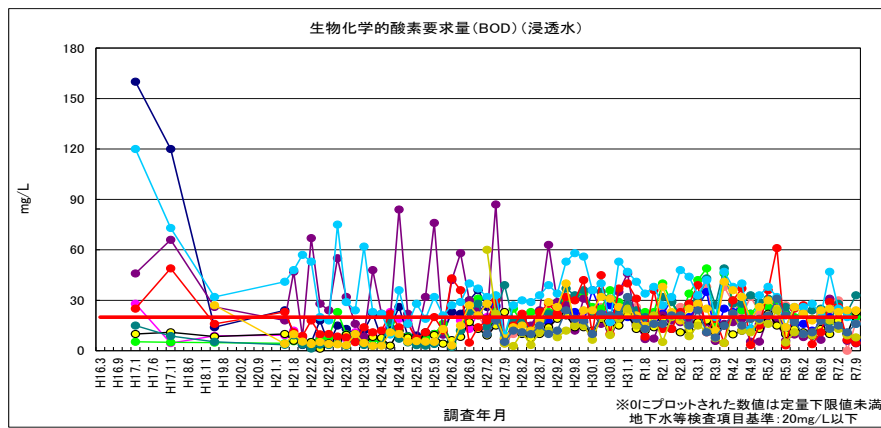


図 2-33 生物化学的酸素要求量（BOD）（浸透水）

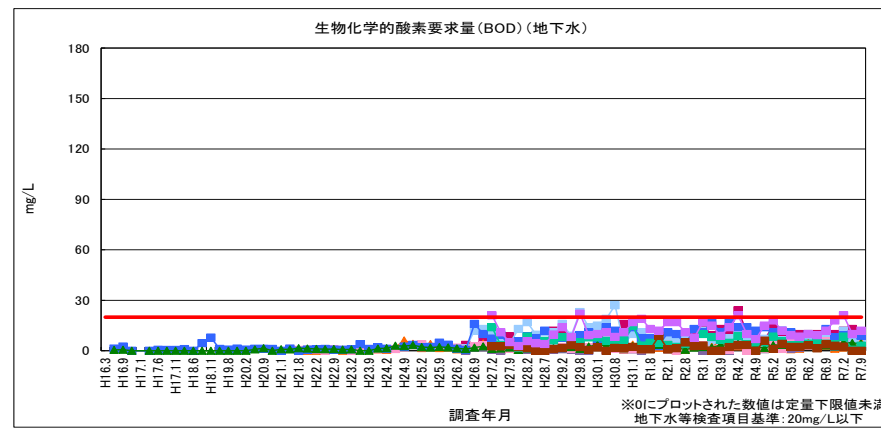


図 2-34 生物化学的酸素要求量（BOD）（地下水）

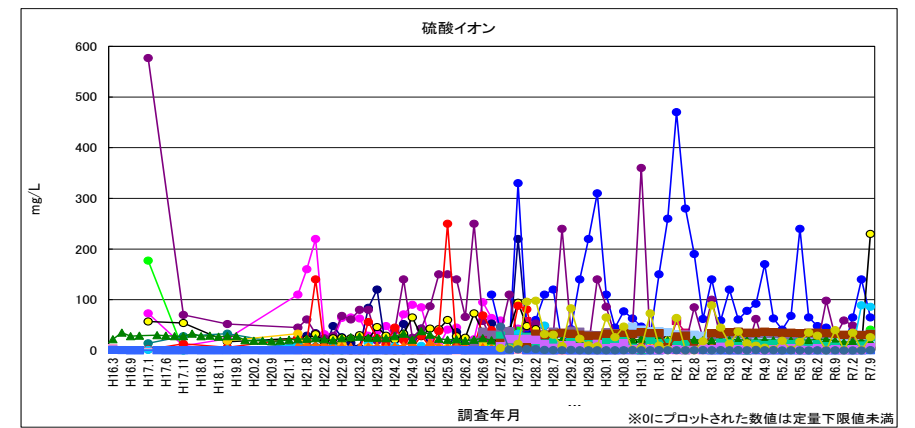


図 2-35 硫酸イオン（浸透水・地下水）

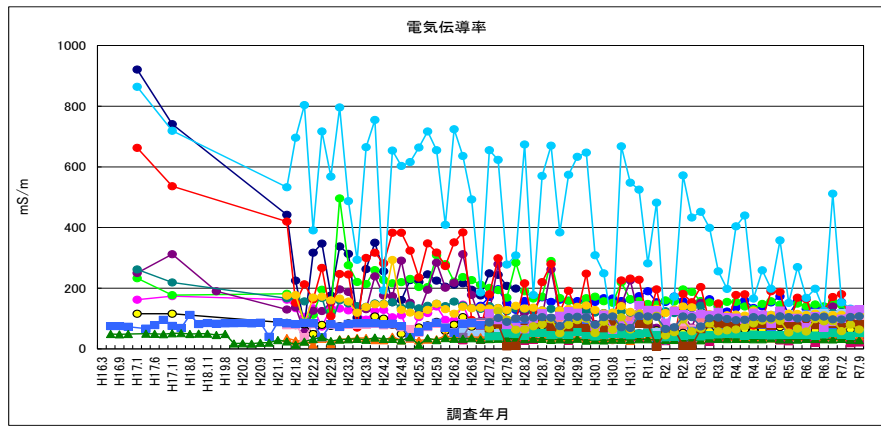


図 2-36 電気伝導率（浸透水・地下水）

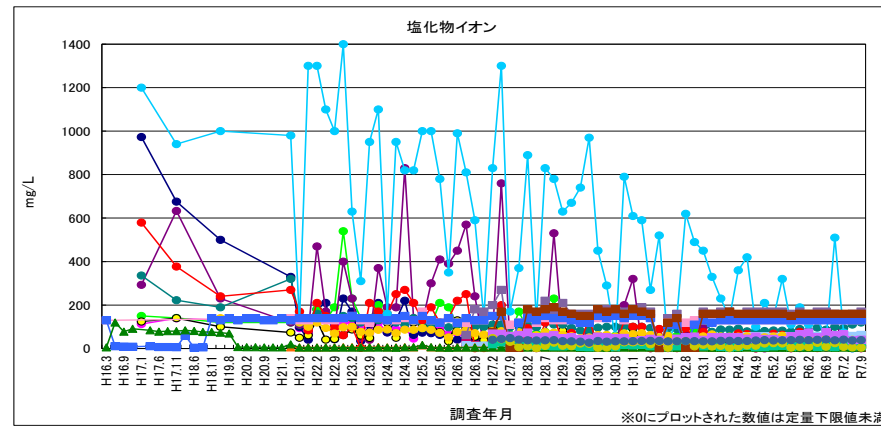


図 2-37 塩化物イオン（浸透水・地下水）

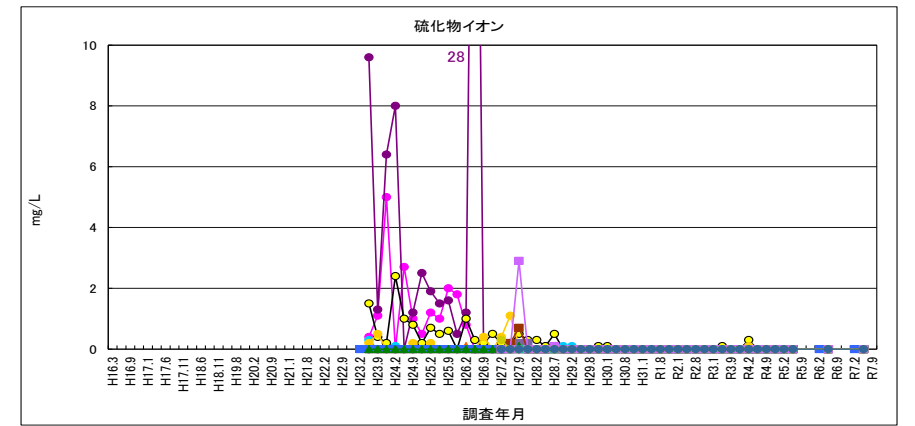
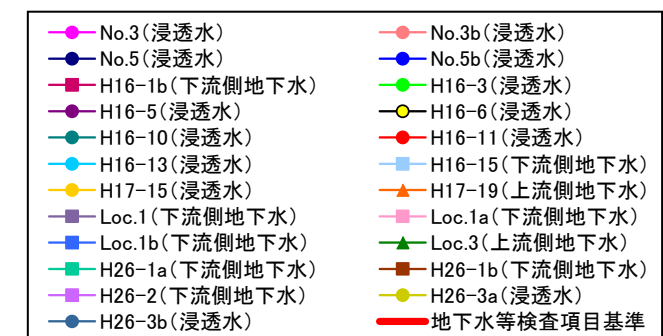


図 2-38 硫化物イオン（浸透水・地下水）



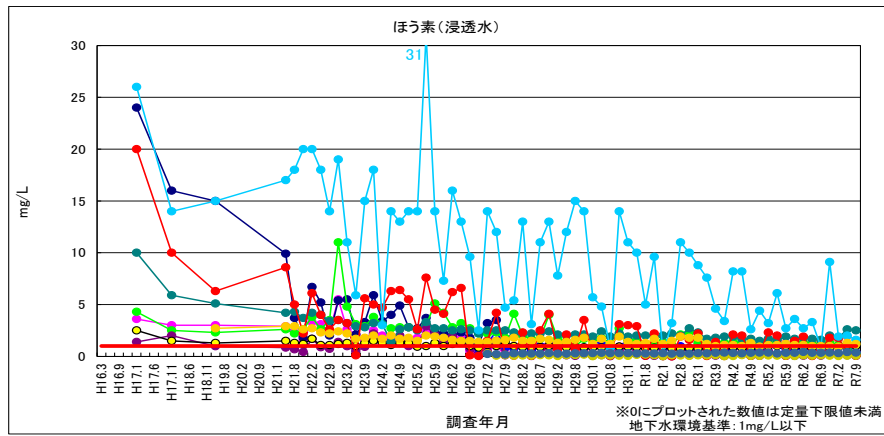


図 2-39 ほう素（浸透水）

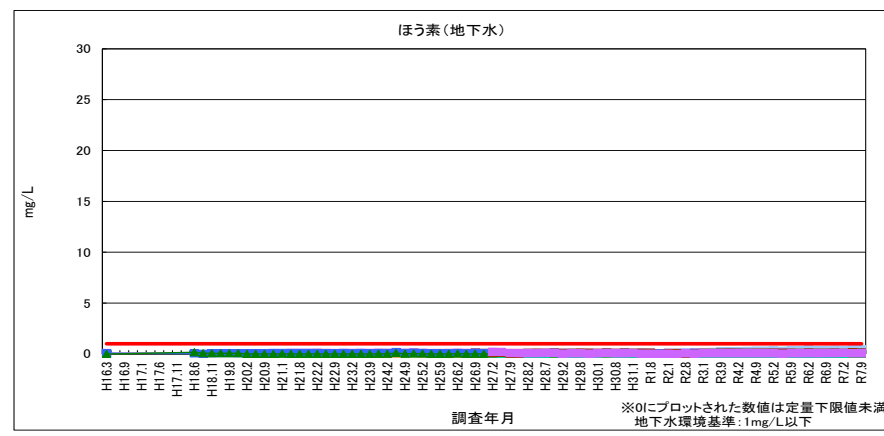


図 2-40 ほう素（地下水）

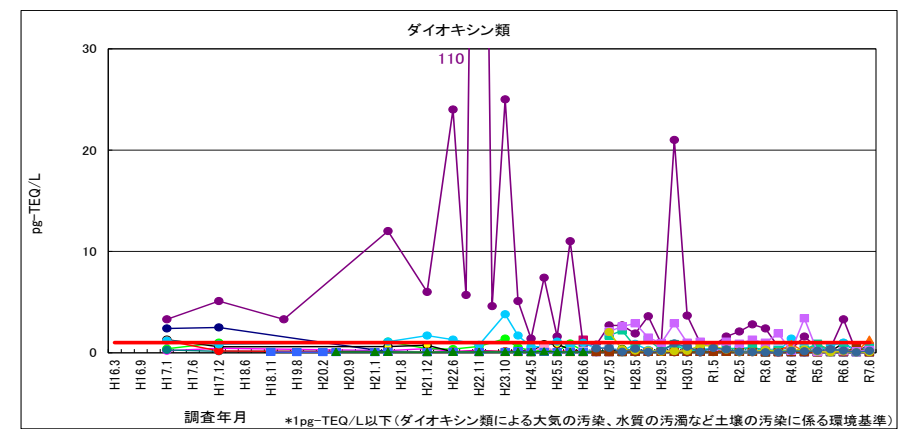


図 2-41 ダイオキシン類（浸透水・地下水）

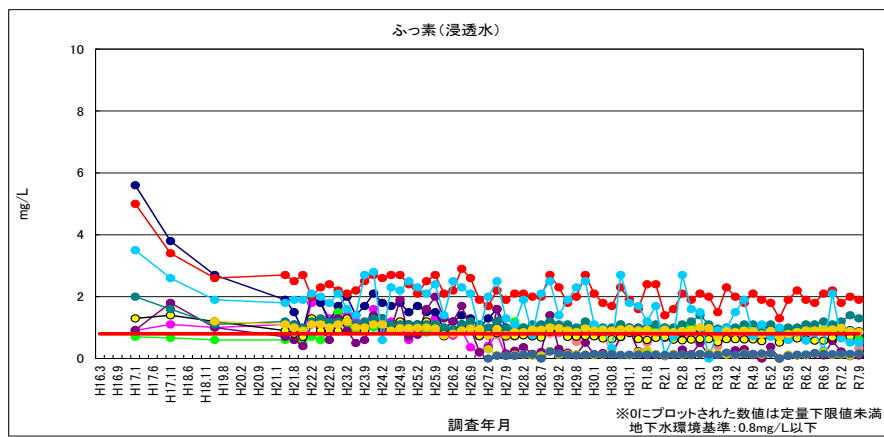


図 2-42 ふっ素（浸透水）

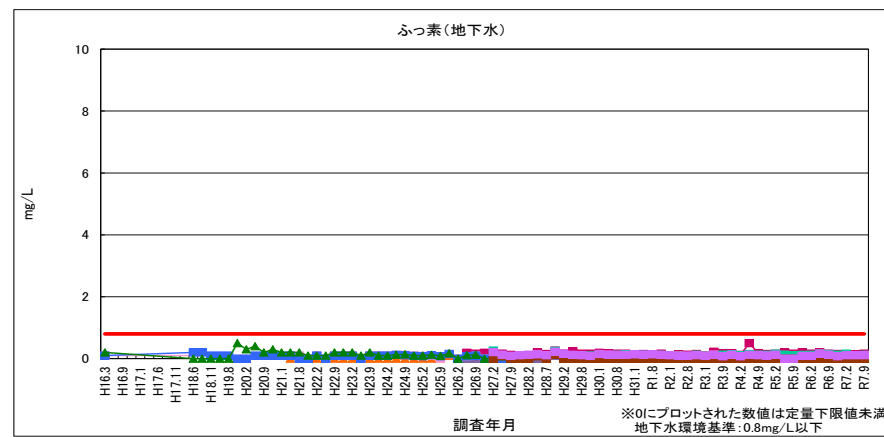
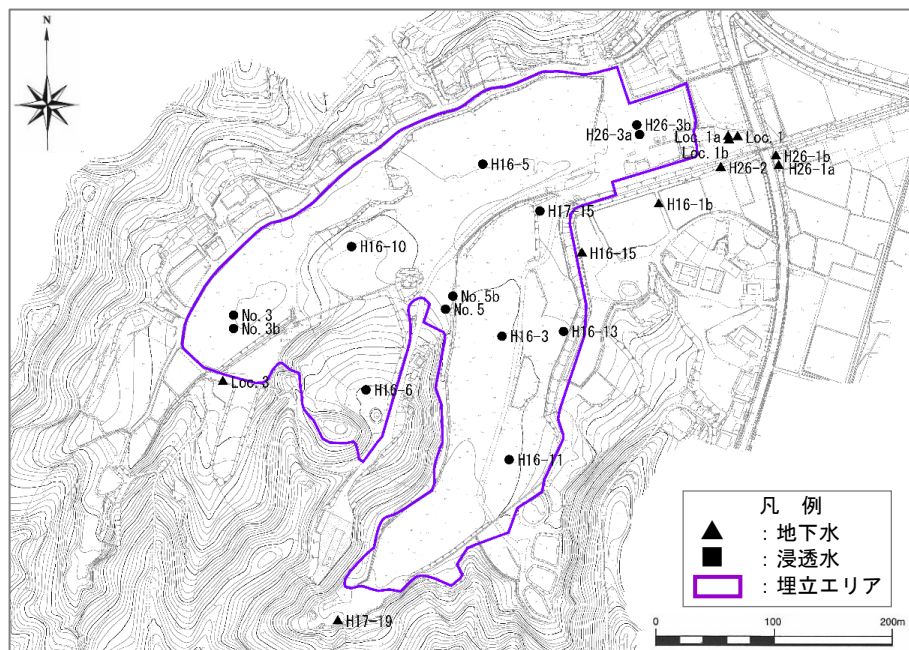
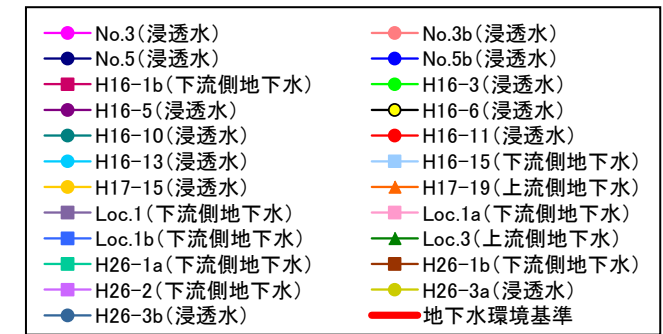


図 2-43 ふっ素（地下水）

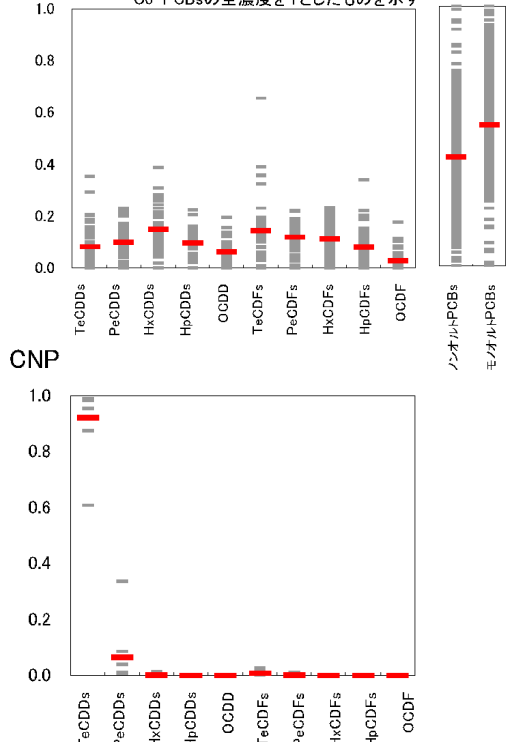


※ 平成 28 年 2 月より調査箇所を、No.3 及び No.5 を No.3b 及び No.5b へ変更

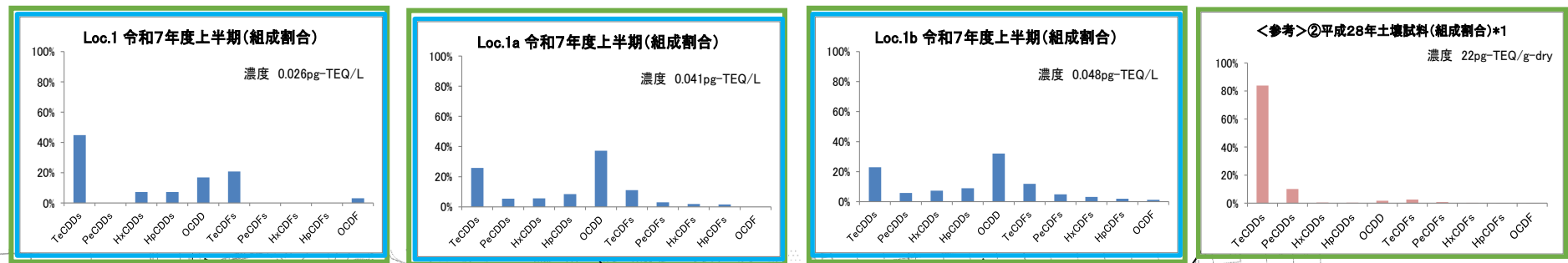
図 2-44 浸透水及び地下水水質調査地点図

焼却施設排出ガス

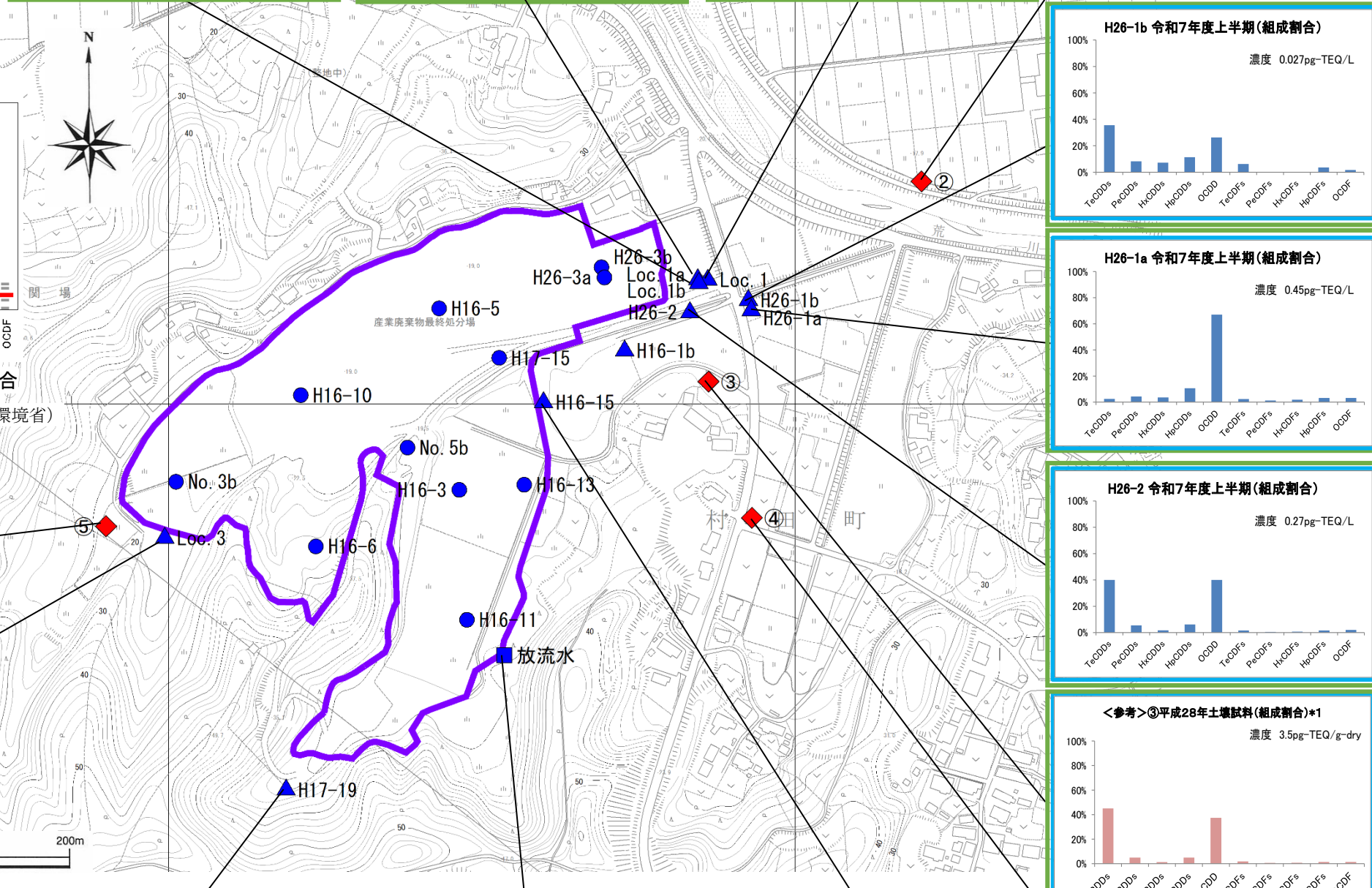
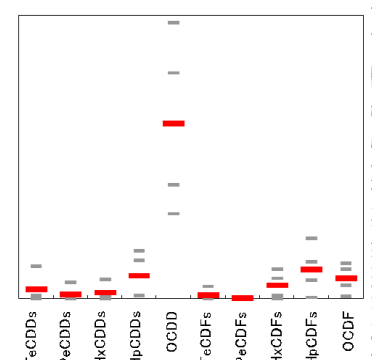
注) PCDDs, PCDFsの全濃度を1として組成比を算出したものと、Co-PCBsの全濃度を1としたものを示す



— 組成比 (全量を1とする)
— 平均

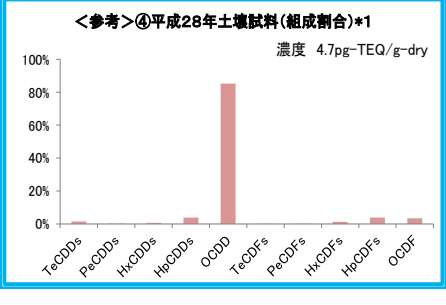
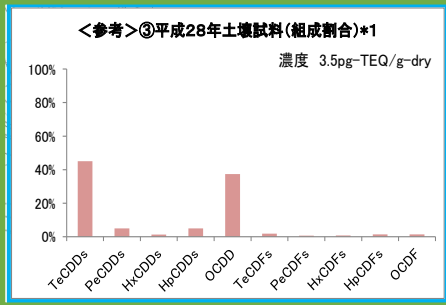
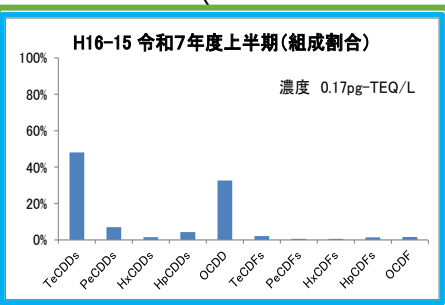
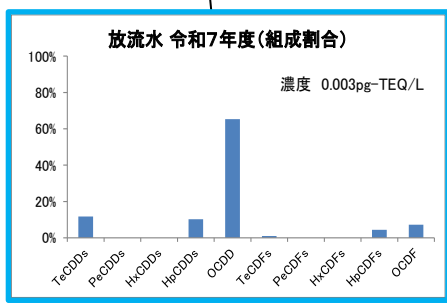
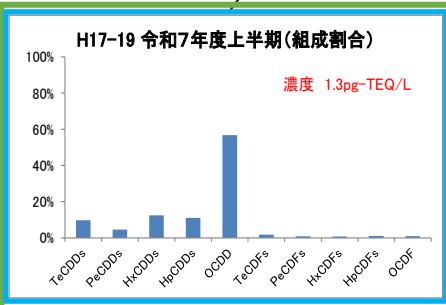
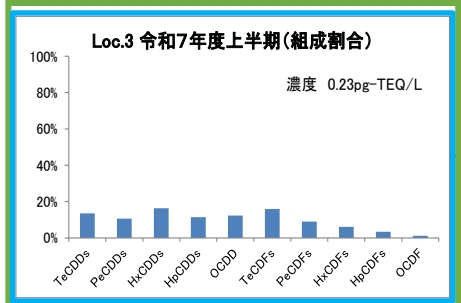
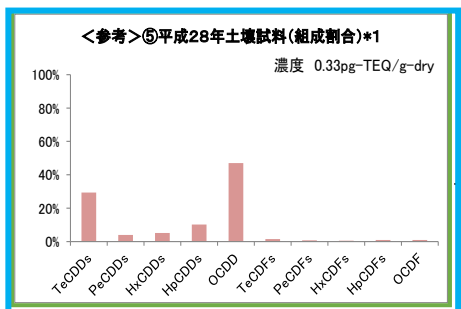


PCP



燃烧由来, 農業由来 (CNP, PCP), ダイオキシン類同族体組成割合

(出典: 「ダイオキシン類挙動モデルハンドブック」平成16年3月 環境省)



- ▲ : 地下水試料採取地点
- : 浸透水試料採取地点
- : 放流水試料採取地点
- ◆ : 土壌試料 (盛土部) 採取地点 (グラフ 茶色)
- (茶色) : 燃烧由来
- (緑) : 農業 (CNP) 由来
- (青) : 農業 (PCP) 由来

*1 第24回評価委員会資料6より

図2-46 ダイオキシン類パターン (令和7年度上半期・処分場外)

2.3 処分場内の状況把握に関する環境モニタリング

2.3.1 発生ガス調査

処分場の状況を確認するため、処分場内の観測井戸 17 地点 (No.3、No.3a、No.3b、No.5、No.5a、No.5b、H16-3、H16-5、H16-6、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15、H26-3a、H26-3b、7-2、7-4) で硫化水素等の発生ガスについて毎月調査を実施した。その結果は、次のとおりであった。

(1) 発生ガス

- 硫化水素濃度は、0.2 未満～85ppm の範囲で測定され、期間中では H16-6 で 85ppm (令和 7 年 5 月) と他の地点より高い値であった。
- メタン濃度は、0～70vol% の範囲で測定され、期間中では No.3 で 70vol% (令和 7 年 4 月) と他の地点より高い値を示した。
- 発生ガス量は、0.01 未満～0.74L/分の範囲で測定された。発生ガス量が定量下限値以上であった各観測井戸の最大量は、H16-5 で最大 0.02 L/分、H16-6 で最大 0.74L/分、No.3 で最大 0.12L/分、No.5 で最大 0.01L/分、7-4 で最大 0.08L/分だった。モニタリングを行っている 17 地点のうち 12 地点 (No.3a、No.3b、No.5a、No.5b、H16-3、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15、H26-3a、H26-3b、7-2) においては、0.01L/分未満で推移しており、ガスの発生は非常に少ないが、廃棄物埋立区域の内部では、微生物による廃棄物の分解反応が継続していると考えられる。

表 2-5 発生ガス調査の濃度等範囲

調査項目	調査箇所	硫化水素 (ppm)						二酸化炭素 (%)						酸素 (%)						メタン (%)						ガス発生量 (L/分)					
		～令和6年度		令和6年度下半期		令和7年度上半期		～令和6年度		令和6年度下半期		令和7年度上半期		～令和6年度		令和6年度下半期		令和7年度上半期		～令和6年度		令和6年度下半期		令和7年度上半期		～令和6年度		令和6年度下半期		令和7年度上半期	
		最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大
北側	高 H16-6	0.2未満	100	10	47	0.2未満	48	0.25未満	14	0.3	0.5	0.25未満	1.1	6未満	6未満	6未満	6未満	6未満	21	2	60	27	39	0	37	0.01未満	2.0	0.51	0.78	0.01未満	0.74
	No.3	0.2未満	170	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.25未満	10	0.25未満	0.96	0.5	1.2	6未満	21	6未満	14	7	13	0	100	0	85	30	71	0.01未満	0.38	0.01未満	0.11	0.01未満	0.12
	No.3a	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.25未満	3.2	0.4	2.6	0.76	1.4	6	22	18	22	18	20	0	5	0	0	0	0	0.01未満	0.09	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
	No.3b	0.2未満	3.5	0.2未満	0.2未満	0.2未満	1.0	0.25未満	5.9	0.9	4.5	0.9	1.9	6未満	21	10	15	13	16	0	52	9	25	11	26	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
	H16-10	0.2未満	450	0.2未満	12	0.2未満	12	0.25未満	20	0.25未満	0.3	0.25未満	0.5	6未満	21	15	21	17	19	2	92	2	28	2	19	0.01未満	2.5	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
	H16-5	0.2未満	23	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.25未満	17	2.2	9.1	0.3	4.3	6未満	21	9	14	10	16	0	94	0	48	0	38	0.01未満	8.4	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.02
低 H26-3a	0.2未満	1.4	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.25未満	1.2	0.25未満	0.25未満	0.25未満	0.25未満	10	22	19	22	19	21	0	8	0	6	0	4	0.01未満	0.03	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	
低 H26-3b	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.25未満	0.3	0.25未満	0.25未満	0.25未満	0.25未満	2	22	20	22	19	21	0	5	0	0	0	0	0	0.01未満	0.03	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
南側	高 H16-3	0.2未満	4.0	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.25未満	10	0.8	1.9	0.25	1.6	6未満	20	14	19	13	17	0	75	13	27	12	29	0.01未満	0.61	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
	H16-11	0.2未満	1200	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.25未満	19	1.5	9	0.5	9.4	6未満	22	6未満	18	6未満	20	0	90	0	31	0	11	0.01未満	1.4	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
	No.5	0.2未満	160	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.9	0.25未満	30	8.1	14	1	16	6未満	21	6未満	7	6未満	8	0	70	0	3	0	0	0.01未満	0.25	0.01未満	0.01	0.01未満	0.01
	No.5a	0.2未満	14	0.2未満	9.5	0.2未満	2.3	0.25未満	16	4.7	9.6	4.1	12	6未満	21	6未満	10	6未満	12	0	25	6	12	0	19	0.01未満	0.01	0.01未満	0.02	0.01未満	0.01未満
	No.5b	0.2未満	7.9	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.25未満	16	1.0	5.5	0.25未満	7.0	6未満	21	12	20	9	19	0	6	0	0	0	0	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
	H16-13	0.2未満	33	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.25未満	50	1.6	4	0.6	9.2	6未満	21	7	17	6未満	18	0	80	0	48	0	14	0.01未満	0.90	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
	7-2	0.2未満	1000	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.25未満	36	0.6	6.9	0.25未満	9.2	6未満	22	6未満	20	6未満	21	0	63	0	5	0	11	0.01未満	1.8	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
	7-4	0.2未満	600	0.9	12	0.5	7.8	0.25未満	32	5.4	8.3	4.2	7.2	6未満	21	6未満	9	6未満	10	0	66	34	56	17	57	0.01未満	4.6	0.01未満	0.02	0.01未満	0.08
低 H17-15	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.25未満	3.0	0.4	1.2	0.5	1	6未満	24	16	21	16	19	0	59	6	12	5	18	0.01未満	0.07	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	

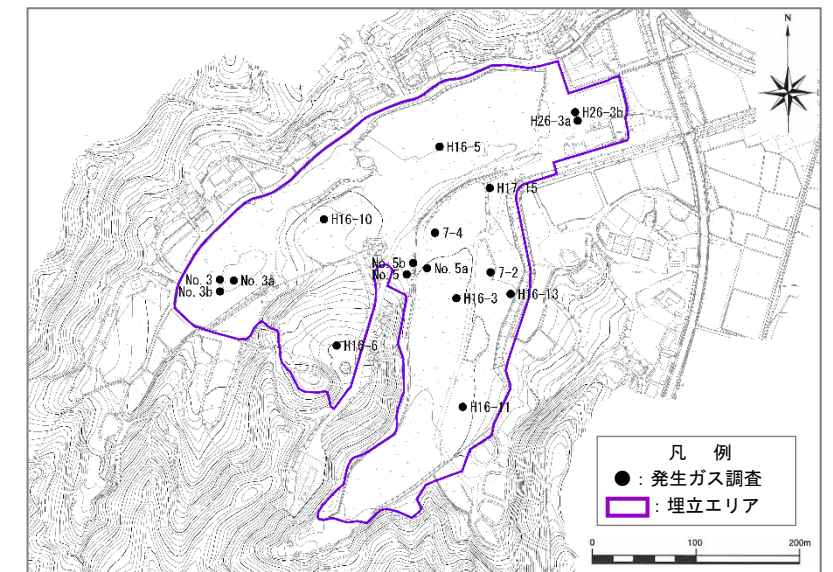


図 2-47 発生ガス調査地点図

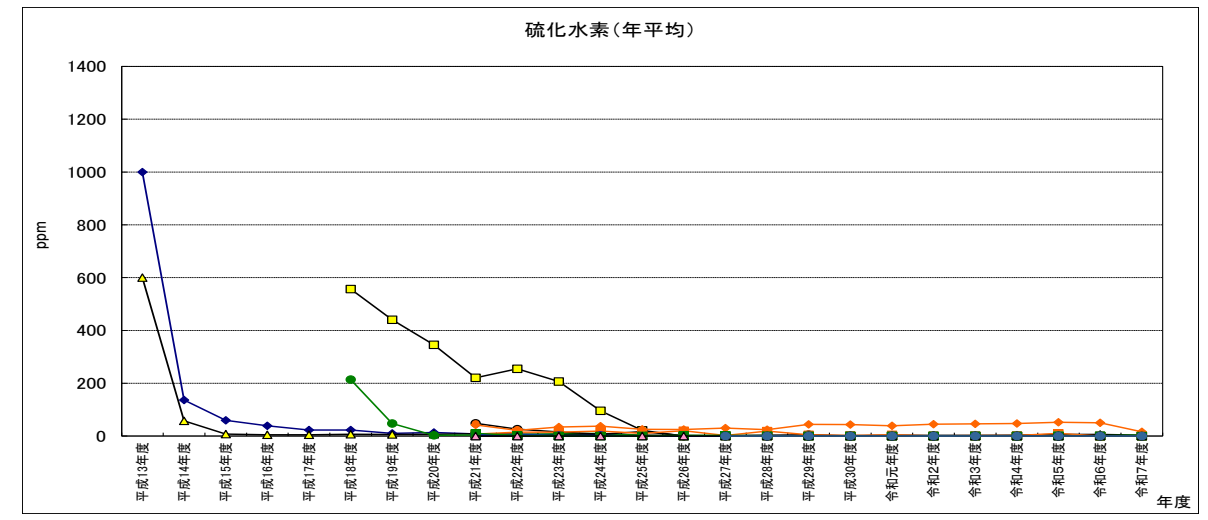
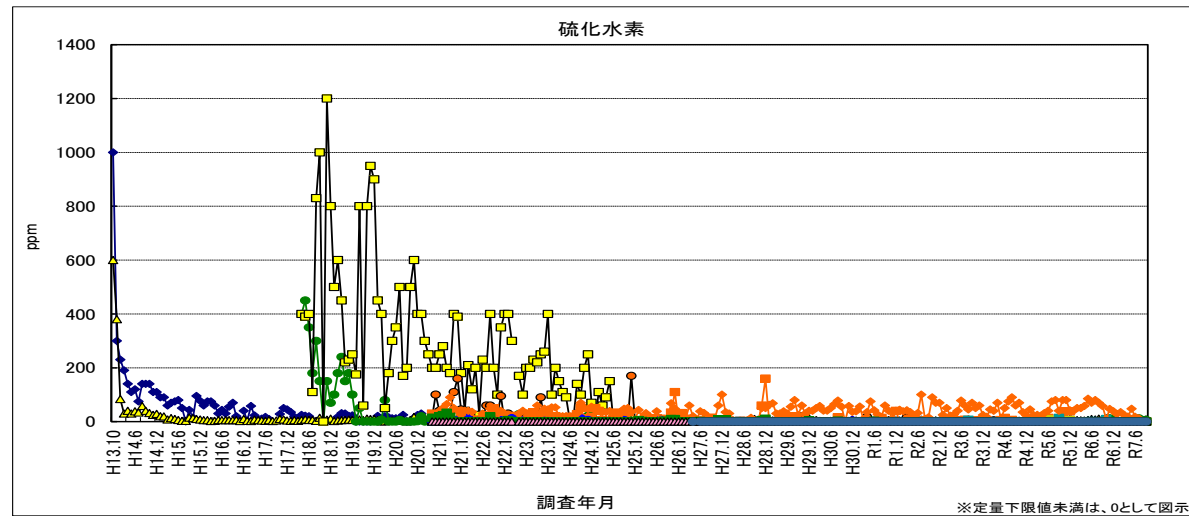


図 2-48 硫化水素（管頭下 1 m で測定）

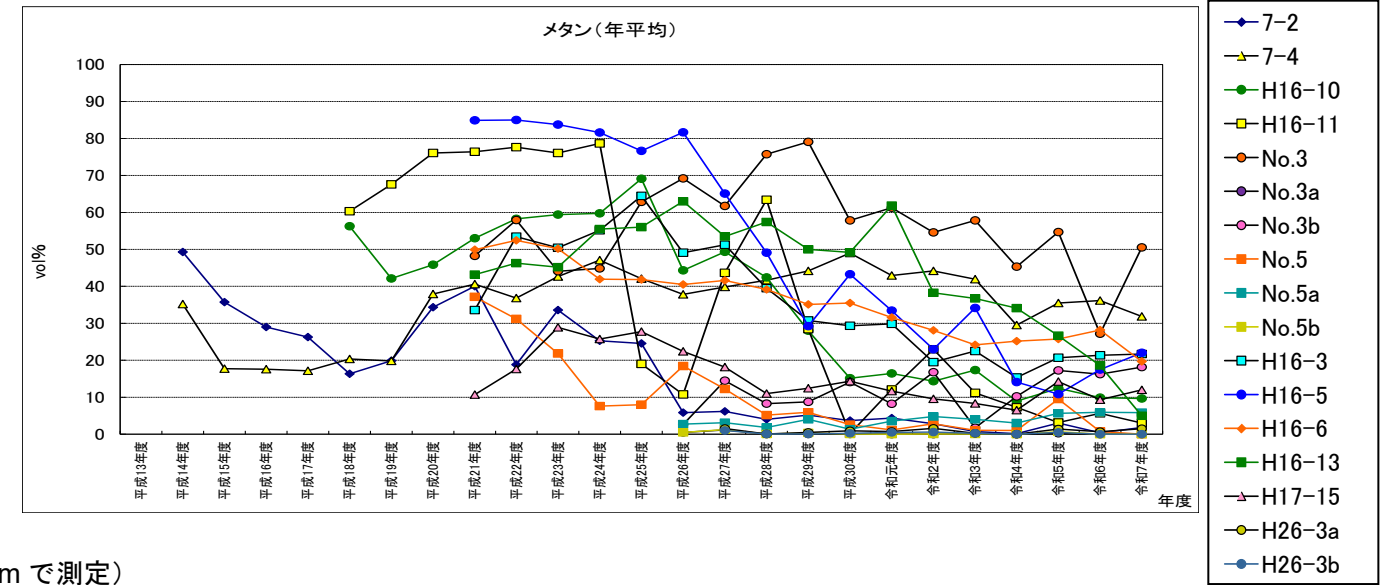
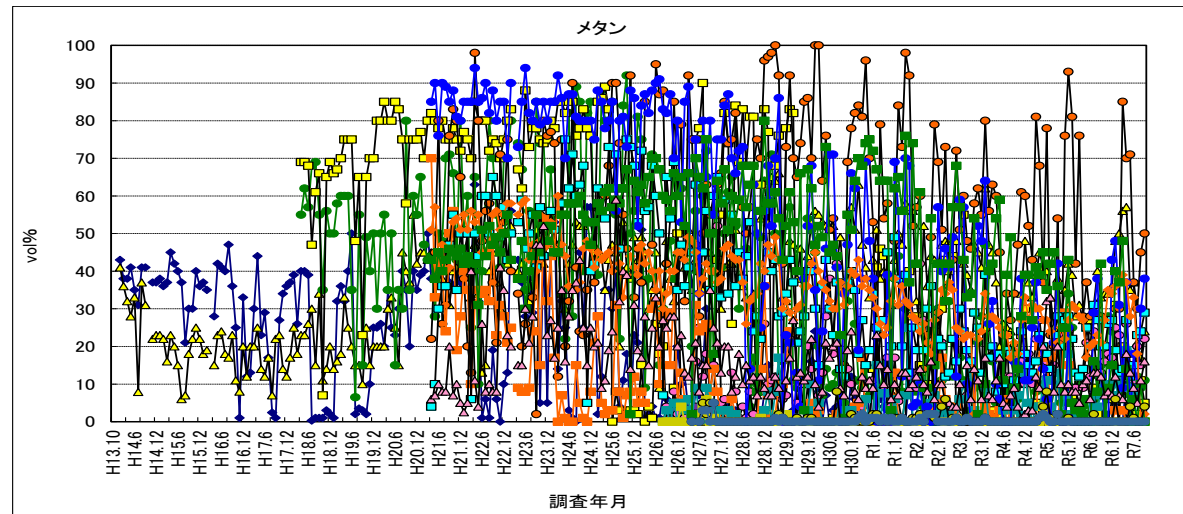


図 2-49 メタン（管頭下 1 m で測定）

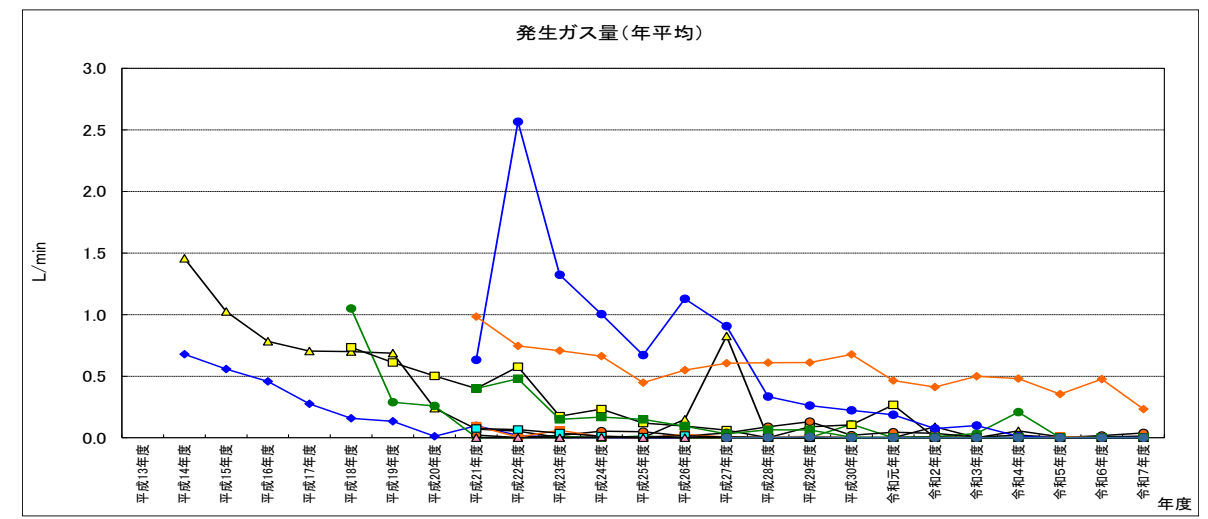
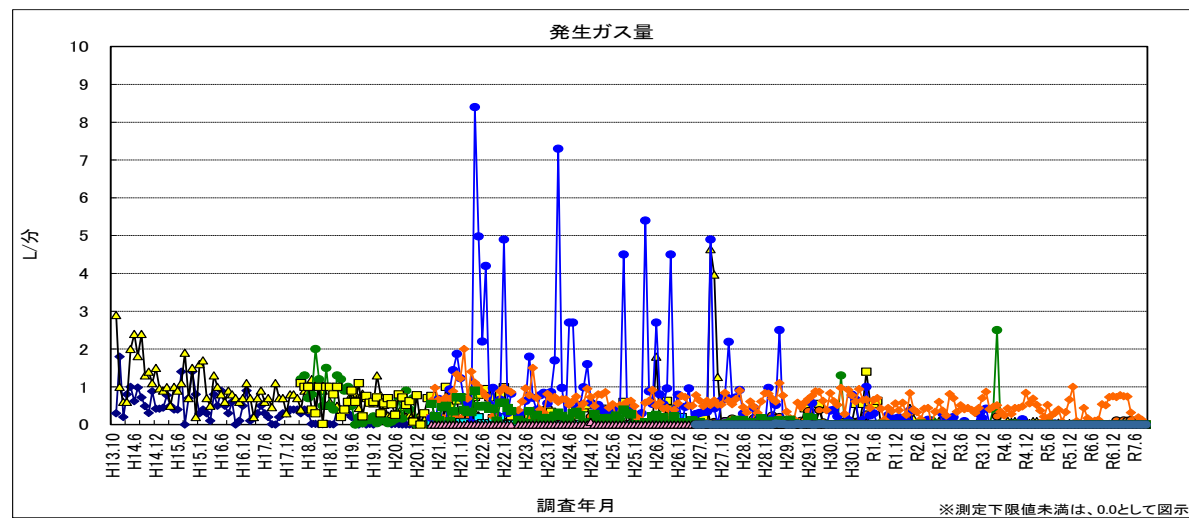


図 2-50 発生ガス量

2.3.2 地中温度及び地下水位調査

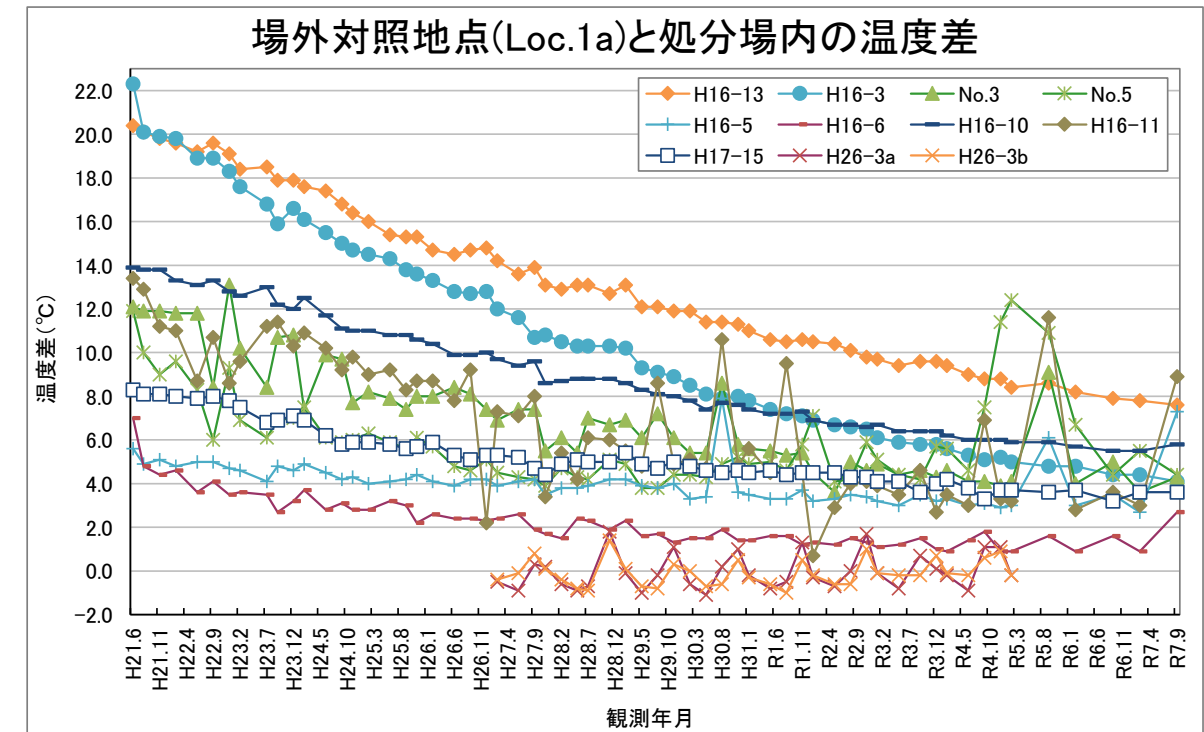
廃棄物埋立区域内外の地中温度及び地下水位の状況を把握するために、浸透水観測井戸 11 地点 (No.3、No.5、H16-3、H16-5、H16-6、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15、H26-3a、H26-3b) 及び、地下水観測井戸 10 地点 (Loc.1、Loc.1a、Loc.1b、Loc.3、Loc.4、H16-15、H17-19、H26-1a、H26-1b、H26-2)、合計 21 地点のうち 10 地点 (No.3、No.5、H16-3、H16-5、H16-6、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15、Loc.1a) の地中温度と、21 地点の地下水位の変動を調査した。地中温度は令和 7 年 9 月に計測を実施し、地下水位変動は調査期間中 1 時間毎に連続測定した。地下水位は、実測値を用いて平成 21 年度以降の地下水位データの補正を実施している。なお、浸透水観測井戸は、廃棄物層の下限 (難透水性岩盤層より上側) まで掘削している。

(1) 地中温度

廃棄物埋立区域内の各調査地点における水面以下の最高温度と、廃棄物埋立区域外の調査地点 Loc.1a 最深部との温度差は次のとおりであった。ただし、各調査地点の水面以下の最高温度は、地表からの影響を勘案し、管頭から深度 5 m 以浅の部分を除いている。

1) 9 月調査時

- 廃棄物埋立区域内の調査地点については、前年同時期よりも地中温度が高い地点が確認された。最も温度が高かった地点は、H16-11 で 23.4℃ (深度 5m) であり、廃棄物埋立区域外の調査地点 Loc.1a の深部 (14.5℃、深度 20m) と比較してみると、その差は 8.9℃であった。令和 6 年 9 月調査時と比べ、H16-11 は 5.2℃高くなり、Loc.1a との温度差は 5.3℃大きくなった。直近で温度の高かった令和 5 年 9 月調査時と比べると、H16-11 は 3.1℃低くなり、Loc.1a との温度差は 2.7℃小さくなった。
- 令和 4 年 12 月頃より温度上昇傾向が確認されていた No.5 については、令和 7 年 9 月調査時は 18.9℃ (深度 5 m) であり、廃棄物埋立区域外の調査地点 Loc.1a の深部 (14.5℃、深度 20m) と比較してみると、その差は 4.4℃であった。令和 6 年 9 月調査時の No.5 の最高温度 19.0℃と比べ 0.1℃低くなり、Loc.1a との温度差は変化がなかった。
- これまで最も温度が高いことが多かった H16-13 については、令和 7 年 9 月調査時で最も温度が高かった深度は 22.1℃ (深度 11m) であり、廃棄物埋立区域外の調査地点 Loc.1a の深部 (14.5℃、深度 20m) と比較してみると、その差は 7.6℃であった。令和 6 年 9 月調査時の H16-13 の最高温度と比べ 0.4℃低くなり、Loc.1a との温度差は 0.3℃小さくなった。



※ 各調査地点の空気層及び管頭から深度 5m より浅い部分を除いている。

図 2-51 処分場内と場外对照地点 (Loc.1a) との温度差の変化

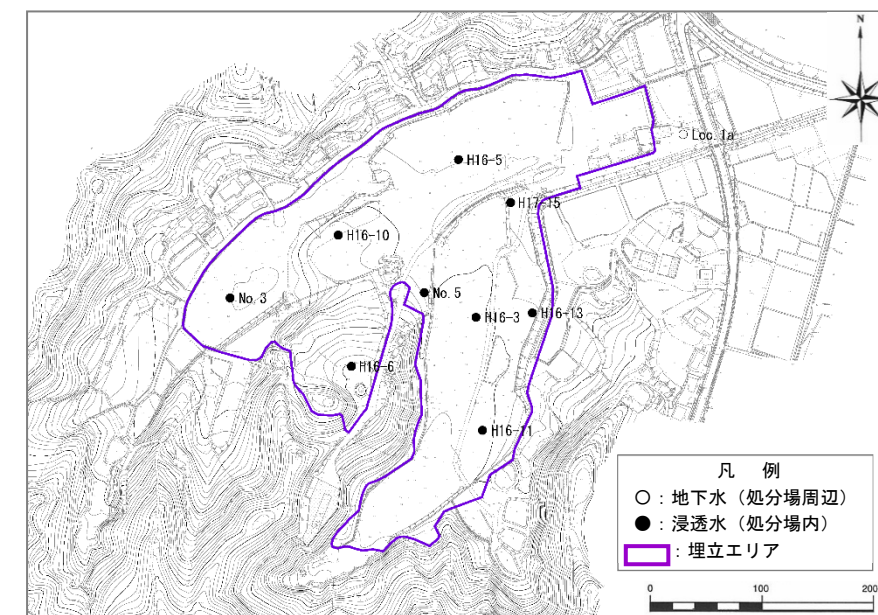


図 2-52 地中温度調査地点図

表 2-6 地中温度測定結果表（令和7年9月17日）

測定日：令和7年9月17日

区分	地点名	測定時刻	管頭下 水位(m)	観測点の深度(m)																																
				1m	2m	3m	4m	5m	6m	7m	8m	9m	10m	11m	12m	13m	14m	15m	16m	17m	18m	19m	20m	21m	22m	23m	24m	25m	26m	27m	28m	29m	30m	31m		
処分場周辺の地下水	Loc1a	11:03	1.82	27.0	23.2	21.8	20.1	17.3	15.8	14.6	14.4	14.3	14.3	14.3	14.3	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4	14.5				
処分場内の浸透水	No3	9:00	2.69	28.7	28.6	22.6	20.4	18.2	17.4	16.9	16.8	16.8	16.9	17.1	17.2	17.4	17.6	17.7	17.8	17.9	17.9	18.0	18.0													
	No5	9:17	4.01	27.2	27.0	26.5	22.3	18.9	18.3	18.2	18.2	18.1	18.0	17.8	17.7	17.5	17.3	17.1																		
	No5a	9:30	3.28	28.4	27.1	26.4	21.5	20.9	19.9																											
	No5b	9:23	4.12	27.2	27.0	26.6	22.6	19.5	19.0	18.9	18.8	18.8	18.8	18.8	18.8	18.8	18.7	18.6	18.4																	
	H16-3	10:39	3.92	26.7	26.4	25.7	18.9	18.3	18.0	17.9	17.9	18.0	18.1	18.3	18.4	18.5	18.6	18.6	18.6	18.4	18.3	18.1	18.0	17.8	17.7	17.6	17.6	17.6	17.6	17.5						
	H16-5	10:48	2.61	27.4	26.6	23.9	23.2	21.8	20.3	19.1	18.5	18.3	18.1	17.9	17.6	17.6	17.6																			
	H16-6	9:37	18.86	26.6	26.4	22.5	22.1	21.4	21.1	20.8	20.5	20.3	20.1	19.9	19.8	19.6	19.5	19.4	19.3	19.2	19.1	17.4	17.2	17.1	16.9	16.9	16.5	16.3	16.0	16.0	15.6	15.4				
	H16-10	9:53	3.43	26.7	26.5	22.7	18.4	18.1	18.1	18.1	18.2	18.4	18.5	18.5	18.7	18.8	18.9	19.0	19.2	19.4	19.5	19.6	19.7	19.8	19.9	20.0	20.2	20.3	20.3							
	H16-11	10:20	4.22	27.0	26.6	25.9	24.0	23.4	22.6	21.3	20.1	19.6	19.4	19.2	19.2	19.4	19.7	19.9	20.0	19.5																
	H16-13	10:34	3.38	27.2	26.7	26.0	19.8	19.3	19.4	20.1	21.0	21.4	21.7	22.1																						
	H17-15	10:54	3.08	27.0	25.2	24.4	19.0	18.1	17.8	17.3	17.2	17.2	17.3	17.5	17.7																					

	≤15℃
	15℃<、<20℃
	20℃≤、≤25℃
	25℃< <small>太線内のデータが評価対象</small>

データなし
 空気層の温度を示す。

※ 観測点の深度(m)は、管頭からの測定深度を示す。
 ※ 地中温度の測定は管頭下 1m毎に行うため、地下水に到達しない観測点は空気層となる。
 ※ 「各調査地点の温度」と「Loc.1a 最深部の温度」の差を比較している。ただし、地表からの影響を勘案し、各調査地点の空気層及び管頭から深度 5mより浅い部分を除外している。
 ※ 空気層の温度及び管頭から深度 5mより浅い部分の温度を緑色で表記した。
 ※ 比較対照としている「Loc.1a 最深部の温度」が 15℃前後で推移しているため、15℃を基準とし、15℃より高い温度区分を着色している。